



週刊 YEAR BOOK

1969  
昭和44年

# 日録20世紀

6/24

平成9年6月24日発行  
(毎週1回発行)第1巻第18号

¥560  
講談社



## 人類、月面に立つ!

国民的アイドル「寅さん」シリーズ第1作  
50兆円突破! 日本GNP世界第2位に躍進  
東大・安田講堂“落城”までの35時間



再現  
ドキュメント

# 「アポロ11号」宇宙への旅195時間 ついに人類が月の表面に立った!

7月20日午後10時56分(米東部夏時間)、アメリカの宇宙船「アポロ11号」の月着陸船「イーグル」から、船長のニール・アームストロングが月面におり立ち、月への第一歩を踏み出した。人類が初めて地球以外の天体に足跡を印した、まさに決定的瞬間だった。

▼8月13日、ブロードウェイで盛大な歓迎を受ける、左からコリンズ、オールドリン、アームストロングの3飛行士。 WWP



## 二度の危機を乗り越え 「イーグル」は着陸した

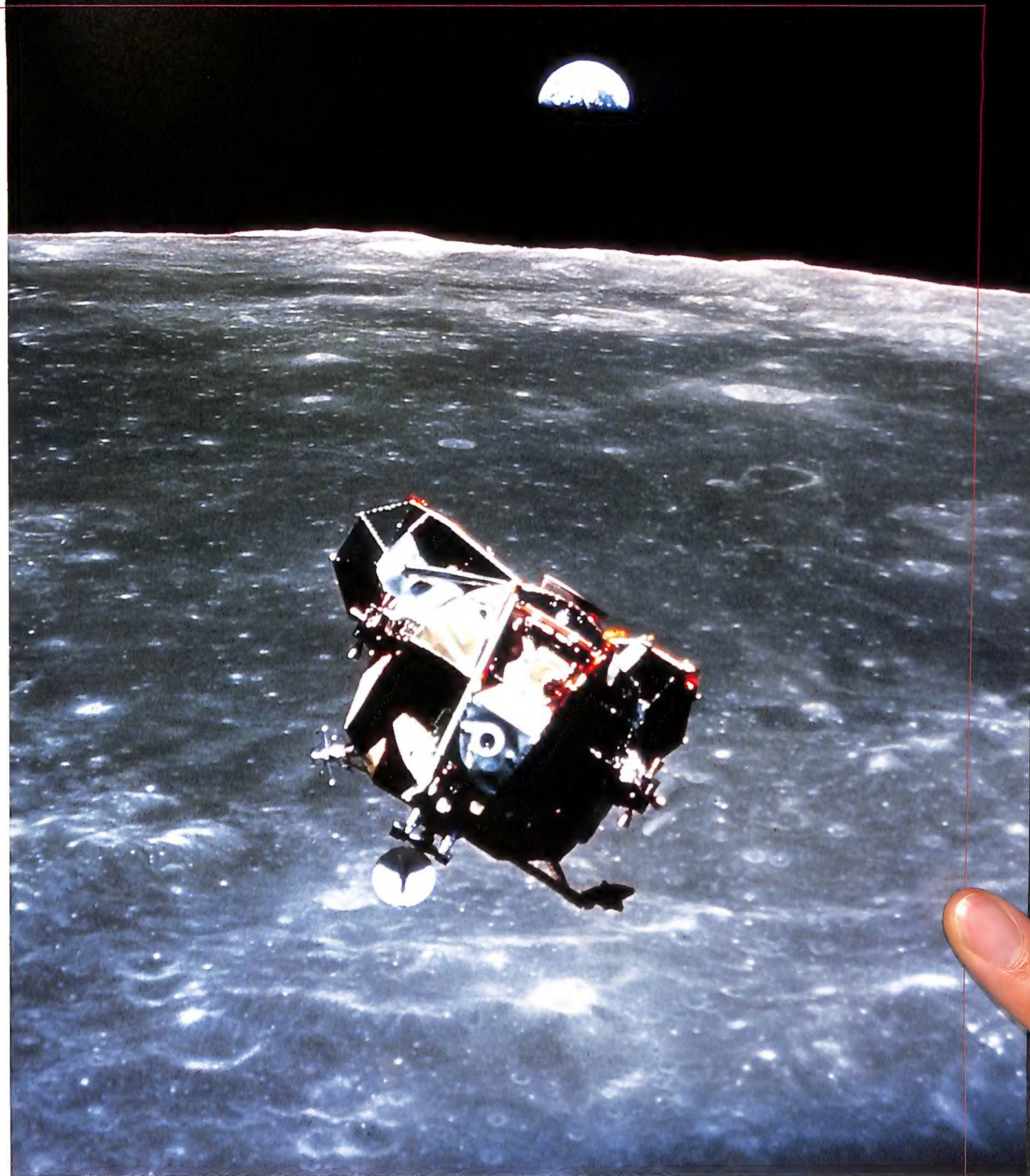
七月一六日午前九時三二分、「アポロ11号」が、フロリダ州のケネディ宇宙センターから打ち上げられた。先端のアポロ宇宙船には、船長のニール・アームストロング(三八)、月着陸船「イーグル」の乗員エドウィン・オールドリン(三九)、

司令船「コロンビア」に乗って月軌道上で待機するマイケル・コリンズ(三九)の三人が乗りこんでいた。

抜けるような青空の中に、アポロ宇宙船を乗せた全長一一〇呎のサターン5型ロケットが、オレンジ色の炎を吐きながら吸いこまれていく。全米から集まった一〇〇万人の群衆が、この旅立ちを見送った。そして四日後の七月二〇日、「ア

ポロ11号」は月をまわる軌道に入った。

月着陸船「イーグル」が下降のためにエンジンを噴射したのは七月二〇日午後四時五分、月面からの高度が一四〇ほどのところであった。降下速度を徐々に緩めていく。そして「イーグル」は、午後四時一七分四二秒、「静かの海」の西端に着陸した。それから六時間余り後、「イーグル」



▲月面活動を終えて上昇、ドッキングのため司令船「コロンビア」に接近する月着陸船「イーグル」。地平線に半分欠けた地球が見える。 NASA SCIENCE PHOTO LIBRARY PPS(表紙用)

◎表紙 月面を歩くオールドリン飛行士。撮影者のアームストロング船長と月着陸船が、ヘルメットのバイザーに映っている。



## 「宇宙を見た人々」のその後

地球を離れ、宇宙空間での数々の体験を経た後、再び地球に帰還した宇宙飛行士たちは、その後、どのような人生を歩んだのか。多くは、この宇宙体験を転機にして、新たな人生を歩むことになった。ある人は政治やビジネスの世界をめざし、またある人は宗教の世界へと進んだ。



▲1961年5月、「アメリカは1960年代末までに人類を月へ送る」と演説するケネディ大統領。 WWP

1962年2月、「フレンドシップ7号」で地球を周回し、実質的にアメリカ初の宇宙飛行士となったグレンは、上院議員になった。また、「マーキュリー8号」「ジェミニ6号」、そして「アポロ7号」では11日間の長期滞在を行ったシラーは、ビジネスの世界に入った。「アポロ15号」で3日間月に滞在したアーウィン、現在はキリスト教の伝道師である。彼は、月におり立ち、静寂で荒涼とした世界に足を踏み入れた時、そこに神がいると感じたという。

しかし、目的を達した後の虚脱感から人々との接触を絶って、自己の世界に埋没する日々を送る人もいた。宇宙飛行士にとって宇宙とは、あらためて人間を見つめなおす場であったのかもしれない。

が「イーグル」の出入り口に立った。オルドリンのテレビカメラがまわり始める。アームストロングが注意深く梯子をおりる。着地も慎重だった。まず左足をおろし、もぐらないことを確認してから右

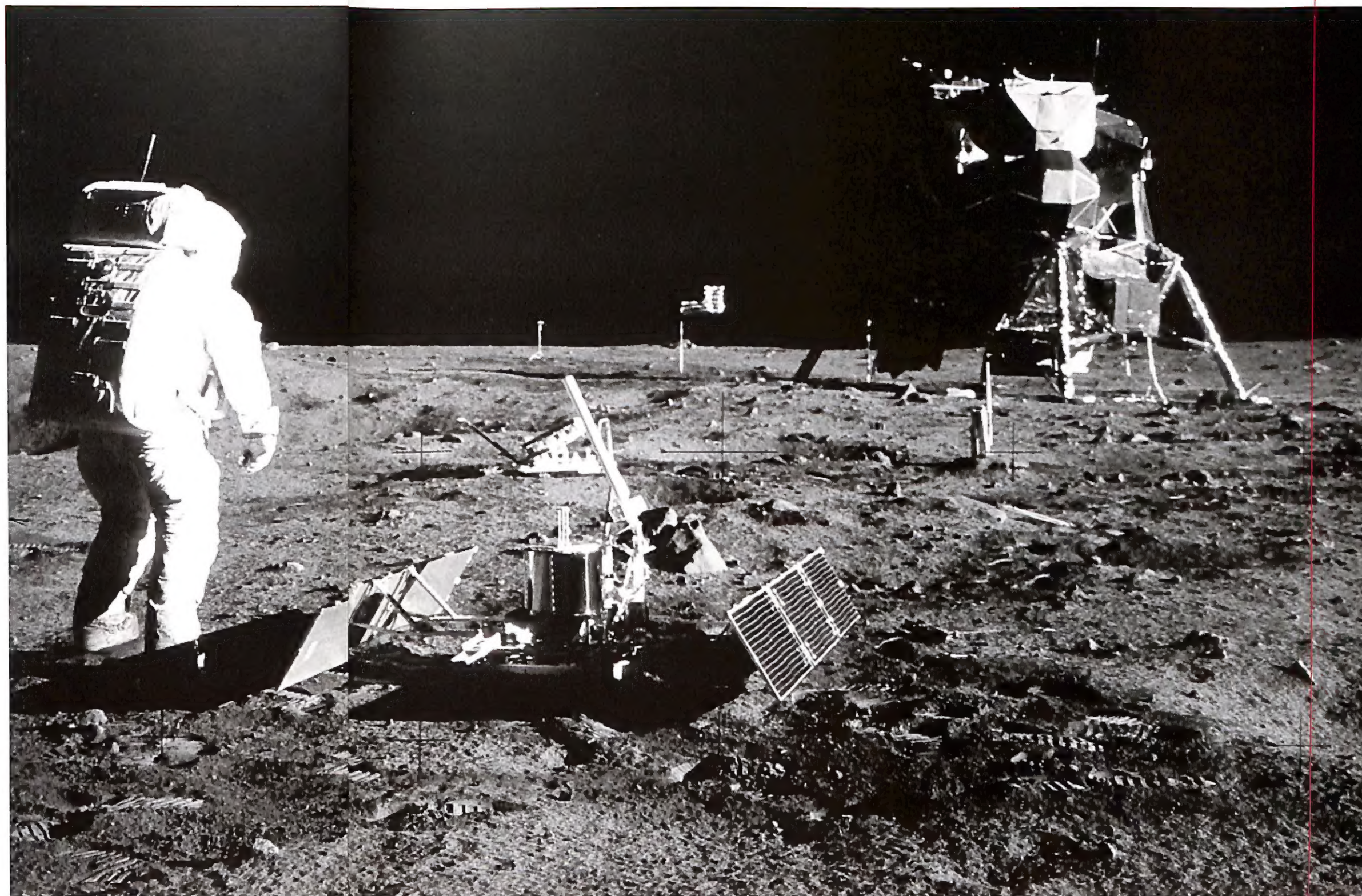
足をおろし、さらに両手を梯子から離して一歩を踏み出した。「二人の人間にとつては小さな一歩だが、人類にとつては大きな飛躍だ」という言葉が世界中に伝えられたのはこの時である。午後一〇時

五十六分、日本時間では七月二二日午前一時五十六分のことだった。

アームストロング、オルドリンの両宇宙飛行士は、重力が地球の六分の一という月の表面をカンガルーのように飛び跳ねながら動きまわった。活動時間は約二時間半、地震計・太陽風測定装置などを据えつけ、岩石の採集や写真撮影を行って「イーグル」に戻った。

この、「アポロ11号」の月面着陸と、それに続く二人の宇宙飛行士による月面での活動は、世界中にテレビで放映された。世界で五億人、日本では約七〇〇万人がこの場面に見入ったと言われている。そして、アポロ管制室とアポロ宇宙船内の宇宙飛行士たちとのやりとりが、同時通訳によって伝えられた。

この世紀の場面を同時通



▲月面活動中のオルドリン飛行士。右上に月着陸船「イーグル」、中央に地震計が見える。地震計の後方にアメリカ国旗、その左に小さく見えるのが月面活動を記録したテレビカメラ。 NASA / SCIENCE PHOTO LIBRARY PPS(左ページ下)

のハッチがついに開けられた。計画では、アームストロングとオルドリンは月面到着後、四時間の睡眠と二回の食事をとった後に、船外活動の準備を始めることになっていた。しかし、予定は約五時間繰り上げられた。この時の模様をオルドリンは、著書で次のように述べている。

「われわれはたつたいま月面に着陸したばかりで、体内にはまだたくさんさんのアドレナリンが流れ興奮していた。船外活動の前に睡眠をとれと言うのは、子供にクリスマス朝に正午までベッドに入っていると云うのに等しかった」(地球から来た男 鈴木健次・古賀林幸訳)

それもそのはずだった。「アポロ11号」が最終降下を行っていた二六分間の間に、ヒューストンの有人宇宙飛行センター・アポロ管制室を凍りつかせるような事態が二度も起きていたのだ。

一度目は高度二〇〇〇呎付近のことだった。コンピュータの処理速度が、事態の進行に追いつけなくなったのだ。着陸を続行するか中止するか。二六歳と二四歳のコンピュータ技師が答えを出した。「ゴー」。

二度目は着陸二分前から着陸の瞬間まで続いた。月面の地形が予想外に複雑で、安全な着陸地点がなかなか見つからない。「イーグル」は、燃料切れの六〇秒前になっても、まだ高度一〇呎ほどで飛んでいた。「イーグル」が着陸した時、わずかに一六秒分の燃料しか残っていなかったのである。

世界中が目撃した  
人類史上初の壮舉

午後一〇時五十一分、アームストロング

訳した村松増美氏(現・サイマルインタナショナル会長)は、その時のことを、「とにかく、歴史的な一瞬に立ち合ったということ、非常に高揚しましたね」と語っている。通訳に失敗はなかったが、時々通訳不能なやりとりが、ヒューストンと飛行士との間で交わされたこともあったという。「何か暗号のようなもので、通訳のしようがなく、私は沈黙するしかありませんでした」と、氏は当時を振り返る。

月着陸船「イーグル」は二二日午後一時五十五分、月面を離れた。そして司令船「コロンビア」とドッキング、乗員が移乗し、二四日午後零時五〇分、中部太平洋に無事着水した。地球を飛び立つてから八日と三時間余り後の帰還だった。



▲地球への帰還後、隔離室でニクソン大統領と会見する3飛行士。





▲第1作「男はつらいよ」のポスター。「寅さん」の歯切れのよい喋り、口上が、この映画のひとつの魅力になっていた。

▲第15作「寅次郎相合い傘」の「寅さん」と浅丘ルリ子。浅丘ルリ子はドサまわり歌手・リリーの役で、このシリーズのマドンナとして、4回も出演している。もちろん最多登場。

いよ」シリーズだが、第一作「男はつらいよ」は「望まれない子ども」として昭和四四年八月二七日に封切られたのだ。しかし結果は、観客動員数五万四三〇〇〇人、配給収入一億一〇〇〇万円（入場料四五〇円）と好成績。松竹は、一月に「続・男はつらいよ」、翌年一月に「フーテンの寅」、二月にも「新・男はつらいよ」とたてつづけに公開する。「意外と多かったのが大学生、それに、いわゆる『街のあんちゃん』や職人さんも一緒に観に来ていました。三作

目までを同時上映した『寅さん大会』では、深夜にもかかわらず映画館は大盛況。不思議な出来事を遠くから見ているような気分でした（山田監督）  
「私、生まれも育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使った根がら江の子。姓は車寅次郎。人呼ばひフーテン。寅と申します。」  
「私、生まれも育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使い、姓は車、名は寅次郎、人呼んでフーテンの寅と申します。」  
渥美清（四二）の絶妙な仁義とともに、「寅さん」はこの年から、国民的アイドルへの道を歩み始めたのだ。  
第八作では観客動員数二〇〇万人を突破。寅さんの惚れる「マドンナ」役も吉

# 「私、生まれも育ちも葛飾柴又です」 配給収入468億円、観客動員数7970万人 国民的アイドル「寅さん」スタート!



▲最後の作品となった「寅次郎紅の花」の奄美大島でのロケ風景。写真左から寅さん役の渥美清、マドンナ役の浅丘ルリ子、山田洋次監督。写真はすべて松竹提供

昭和四四年八月二七日、「男はつらいよ」が封切られた。実に四八作も製作されたシリーズの第一作である。この映画は多くの日本人に愛され、全シリーズの配給収入は四六八億円を数え、通算七九七〇万人近くの人が映画館に足を運んだ。しかし、平成八年、主演の渥美清が他界し、二六年におよぶ歴史に幕が下ろされた。もう我々は新作を観ることができない。

## あわやボツ寸前だった「男はつらいよ」第一作

青天の霹靂のように「寅さん」の死が伝えられたのは、平成八年八月七日だった。享年六八。死後三日たってからの発表は、私生活を隠し通してきた、いかにも渥美清らしい最期だった。八月二日に鎌倉市の松竹大船撮影所で行われた「渥美清さんとお別れする会」には三万六〇〇〇人が詰めかけ渥美の死を悼み、九月三日には国民栄誉賞が贈られる。

「寅さん」の死が象徴するようにこれほど人々に愛された「男はつらいよ」だったが、第一作は「今さら、テレビドラマのリメイクなんて」と、ボツになる可能性もあったほど、松竹は気のり薄だった。映画公開の前年にフジテレビの連続テレビドラマ「男はつらいよ」で脚本を担当し、映画の監督・脚本をつとめた山田洋次は当時三七歳、こう振り返っている。

「仕方なくやらせてあげている、という雰囲気の中で撮ったため、全然、面白くない作品だと自分では思っていたんです。でも、映画館は笑いの渦だった」

シリーズ通算四八作、世界映画史上に燦然と輝く記録を打ち立てた「男はつら



永小百合（第九作）、八千草薫（第一〇作）、浅丘リ子（第二作）、岸恵子（第二作）といった人気女優を起用し、常に二〇〇万人をねらえる映画、益々その定番映画として定着した。

## 時代の気分に合わせて 「国民的映画」に成長

「男はつらいよ」がヒットし、後年まで

安定した人気シリーズとなったのは、第一には渥美清の卓抜な芸があったからだ。と、映画評論家の佐藤忠男は言う。「初めの一〇本くらいは渥美清のワンマンショーでした。あれは浅草の伝統芸にしっかり結びついた芸の持ち主でなければ演じきれないものなのです」寅さんの妹・さくら（倍賞千恵子）の夫・博を演じた俳優の前田吟は、渥美に

ついてこう語る。

「渥美さんは一発目のリハーサルの時から、ものすごく芝居がうまかった。そのまま本番用にとっておきたいくらい、みごとでしたよ」

さらに一九六〇年代から七〇年代にかけての日本人の気分が、「男はつらいよ」を国民的映画にまで押し上げた。

「男はつらいよ」はヤクザ映画の市民

版なんです。一九六〇年代のアンキーな空気の中で若者たちから支持されていた東映ヤクザ映画の要素を、保守的な市民社会に取りこむ妥協点をみいだしたのがあの映画だったと言えます。寅さんは、自由への憧れと壊れゆく其団体秩序へのノスタルジーという、当時の日本人の矛盾した気分を代弁していたんです。そして社会の対立や矛盾も、映画館の中では解消されていた。だからこそ誰もが楽しめた国民的映画と呼べるのです」（前出・佐藤忠男）



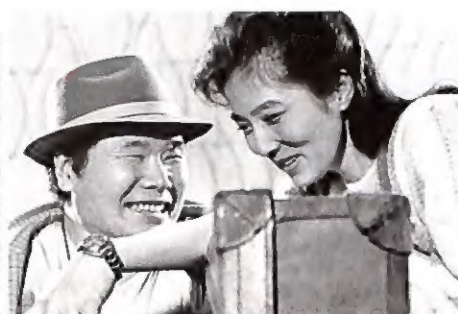
▲第16作「葛飾立志篇」でのレギュラー出演者たち。「寅さん」を中心に妹・さくらの倍賞千恵子、その夫の前田吟、御前様の笠智衆、おひちゃんの下條正巳、おばちゃんの前田千恵子、タコ社長の太宰久雄ら。マドンナは榎山文枝。



▲第一作「男はつらいよ」で「寅さん」の幼なじみで初マドンナ役を演じた光本幸子。



▲第二作「浪花の恋の寅次郎」で、芸者役の松坂慶子。



▲第三作「寅次郎恋つれ」の吉永小百合。作家の娘で、陶芸家の夫と死別した役だった。



▲第三八作「知床慕情」で、居候先の獣医の娘を演じた竹下景子。

## 女たちの肖像

稲葉真弓

# ジョン・レノンと結婚 オノ・ヨーコの ベッドの平和一週間

前衛芸術家、詩人、作曲家、彫刻家。オノ・ヨーコには万華鏡のような顔があるが、彼女を世界で最も有名な日本人女性にしたのはなんと元ビートルズのリーダー、ジョン・レノンとの結婚だろう。

この年の三月二〇日、ジブラルタルで結婚式をあげた二人はオランダに飛び、阿姆斯特ダムで「ベッドの平和」と称するパフォーマンスを行い世界中のマスコミをに



▲ジョン・レノンとともに、世界中の人に、「愛と平和」を呼びかけたオノ・ヨーコ。

ぎわした。二人はヒルトン・ホテルの一室で一週間ベッドにこもり、シャンパンとキヤビアをかたわらにテレビ記者会見を行ったのである。この時ロンドンの夕刊紙は「ジョンとヨーコの狂った狂った世界」と大見出しを掲げたというが、動機は「ベトナム戦争に反対するため」世界の人の「愛と平和」を呼びかけようというものだった。当時オノ・ヨーコは三六歳。「ハッピーグの女王」「前衛芸術のタイーン」「ヒッピー

ーの女王」などと呼ばれていたが、素顔は名家の令嬢である。父は東京銀行サンフランシスコ支店副頭取だった小野英輔、母・磯子は安田財閥の末娘。幼少の頃は鎌倉の広大な別荘で家庭教師に囲まれて育ち、昭和二十七年学習院大学哲学科入学後、父親の住むニューヨーク郊外に移った。彼女の才能が開くのはサラ・ローレンス・カレッジで作曲や詩を学んでから。アーティストとして活動を始めた彼女は三一年、作曲家・柳巷と駆け落ちして結婚、三九年離婚、同年前衛芸術家のアンソニー・コックスと再婚、一女をもうけた。

ジョンとの出会いは四一年ロンドンで開かれた彼女の個展の会場だった。妻子のあったジョンが「私は雲です。空にいる私をみつけないさい」というヨーコからの手紙を読んで感動、結婚を決意したという話は印象的である。

ジョンとの結婚で彼女は「ビートルズを解散させた女」「魔女」「ドラゴン・レディ」などという烙印を押されたが、二人は人生のパートナーとして互いを認めあい、一時は別居したものの一息子をもうけ、愛の関係は昭和五五年二月八日、ジョンがニューヨーク市マンハッタンで自宅ダコタハウスの中で凶弾に倒れた悲劇の日まで続いた。現在の彼女はニューヨークを拠点にロックオペラを制作したり、詩作にアートに

## 勝者・敗者

阿部珠樹

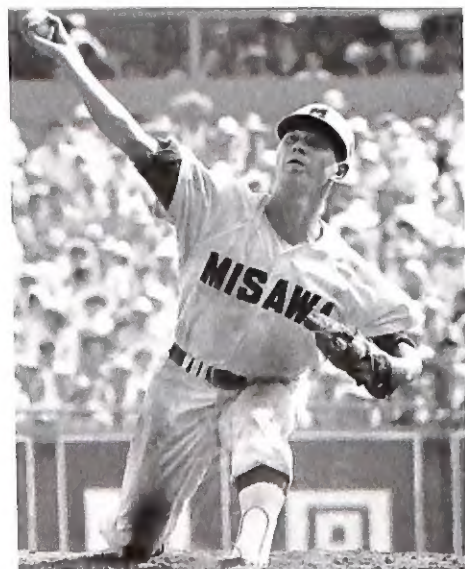
# 元祖「甲子園のアイドル」 太田幸司と伝統校の対決

ひとつの試合が、スポーツの枠を越え、時代の象徴としての意味を持つことがある。この年の夏の高校野球決勝は、まさにそうした象徴的な試合だった。

対戦したのは愛媛県の松山商業と青森県の三沢高校である。松山は戦前からいくつもの名選手を生んだ日本有数の野球どころ。統率の取れたチームワークと猛練習。松山商業は日本の伝統的な価値観がユニフォームを着ているようなチームだった。一方の三沢高校は、野球不毛の地といわれる青森県で、米軍基地の少年野球からスタートした選手が主力になっていた。日本的な伝統からこれほど遠いチームもなかった。

時代は学生運動の嵐が吹き荒れ、伝統的な価値観と、新しい価値観がぶつかり合っていたが、甲子園もその例外ではなかったのだ。

試合はまれにみる投手戦となった。松山の井上明は、小柄な体から丁寧なコーナ



▲力投する三沢高校・太田幸司投手。 共同通信社

の投手がいまいます。でも、相手には二人で投げなければならぬ。試合後、太田は自分を奮い立たせるように語った。

翌日の再試合では疲れの見える太田から松山打線が四点を取り、三沢の追撃を二点におさえこんで優勝を獲たが、伝統校に一人立ち向かい、延長、再試合を投げ抜いた太田にはアイドル顔負けの熱狂的な人気が沸き起こった。



# 1969

## フォト＋日録で再現する365日

路面電車が各地で姿を消し、蒸気機関車は最盛期の二分の一にまで減少した。一方で、東名高速道路が全通、銀行は現金自動支払いサービスを開始、原発建設も本格化する。そして、「イザナギ景気」五年目のこの年、原子力船「むつ」が華々しく進水した。

▲原子力船「むつ」進水(6月12日)日本原子力船開発事業団が平和利用の特殊貨物船として開発。原子炉は加圧水型で、全長130メートル、8350トン。東京の石川島播磨重工業造船所で進水式が行われた。

写真提供



日経  
20世紀1969

1月



▲羽田税関に初の女性検査官(1月6日)東京国際空港の旅具検査場に19～35歳までの11人が勤務。年始を香港やハワイですごし、お土産をいっぱい抱えた帰国者たちをさっそうとさばいた。



読売新聞社

▲「状況劇場」唐十郎ら、逮捕(1月3日)都立新宿中央公園に無許可で紅テントを張ったため警察が出動。「帰れ帰れ」と叫ぶ観客とにらみ合った。写真は上演中の「腰巻お仙・振袖火事の巻」。終演後3人が逮捕された。

▶青島幸男議員、壇上に立つ(1月31日)前年の参院選で話題になったタレント議員が参院で代表質問。「政財界の腐れ縁は学生のゲバ棒より悪質」などと噛みついたが、佐藤首相に「青島君と憂いは同じ」といなされた。

◀歩道の敷石を撤去(1月21日)東大闘争を支援する反日共系学生らが18日、東京の学生街、神田の街路を占拠(カルチエラタン闘争)、敷石をはいて機動隊に投石した。撤去はその予防策で、警視庁が5万枚を運び去った。



朝日新聞社



朝日新聞社



毎日新聞社

▶鉱石運搬船「ほりばあ丸」沈没(1月5日)大しけに遭い、千葉県野島崎沖で船体が裂けた。乗組員二人は救助されたが、31人が行方不明。写真は漂流する無人のゴムボート。

▼ベトナムと平拡大バリ会談始まる(1月25日)南・北ベトナム、解放戦線、米国の4代表による初の実質討議。「北は南から引揚げろ」「侵略を中止せよ」など6時間半にわたる舌戦が続き、前途多難を思わせた。



PANA 通信社

- 昭和44年1月
- 1(水)サッカー天皇杯でヤンマーが初の日本一。
  - 2(木)奥崎謙三、皇居一般参賀で天皇に向かってパチンコ玉四発を撃つ。奥崎はその場で自首。
  - 3(金)唐十郎の状況劇場、新宿中央公園で無許可公演。機動隊出動し、公演終了後、唐ら三人逮捕。
  - 4(土)高知県で結婚断られ一家七人殺傷の男逮捕。
  - 5(日)大型鉱石運搬船「ほりばあ丸」、野島崎沖で船体が二つに折れて沈没。三人行方不明。
  - 6(月)羽田税関に空港初の女性検査官が配属される。NET、「ひみつ」の「アッコちゃん」放映開始。
  - 7(火)北陸本線の頸城トンネル、貫通式挙行。
  - 8(水)総評、石炭産業国有化を要求し、炭労労組員三万八千の首相宛退職届を連署提出。
  - 9(木)トヨタ、前年の自動車生産は世界六位と発表。
  - 10(金)スウェーデン、北ベトナムを承認(西側で初)。
  - 11(土)東京「石打間」初のスキー特急「新雪」運行。●映画「ロースマリーの赤ちゃん」封切。
  - 12(日)米軍機が入間市の山林に墜落。乗員二人死亡。増、二五七七人の「尻押し部隊」を配置。
  - 13(月)東鉄局、通勤対策本部を設置。前年の二五増、二五七七人の「尻押し部隊」を配置。
  - 14(火)一〇時三十五〇〇〇円の稲作転換奨励金決定。
  - 15(水)米のロッキード社、児玉善士夫と五〇〇〇万円でコンサルタント契約(51年表面化)。
  - 16(木)●連宇宙船「ソユーズ」4・5号、世界初の有人宇宙ドッキングと乗員乗り移りに成功。
  - 17(金)全沖縄軍労組、米民政府による総合労働布令(スト禁止など)撤廃要求の総決起集会開催。
  - 18(土)東大で安田講堂攻防戦。機動隊八五〇〇人が講堂包囲。神田では学生が解放区闘争。
  - 19(日)安田講堂陥落。学生八三一人逮捕。
  - 20(月)東大入試の中止が正式に決定する。
  - 21(火)警視庁、投石防止に神田の敷石五万枚はがす。共同信用調査機関設立で合意、と新聞に。
  - 22(水)家電・楽器・金融業界、月賦代金回収のため。
  - 23(木)文部省、能検テストを今年から廃止と決定。
  - 24(金)美濃部都知事、都営キャンブル廃止を発表。
  - 25(土)第一回ベトナムと平拡大バリ会談討議始まる。
  - 26(日)大相撲で八回目の全勝優勝タイ記録。
  - 27(月)全国的に異常高湯。東京では二〇度を超え、鹿児島市では一カ月早くサクラが満開。
  - 28(火)都内公衆浴場が適正入浴料金求め一斉休業。
  - 29(水)横浜市の人口、前年一年で一〇万人増と判明。
  - 30(木)佐藤首相、中国府承認は考えず、と表明。
  - 31(金)京大教養部、総長辞任など要求し無期限スト。



HAIR  
PEACE.

BED  
PEACE



読売新聞社

▲ビートルズのジョン・レノン(28)、オノ・ヨーコ(36)と結婚(3月20日)ヨーコは前衛芸術家・詩人。写真は25日、アムステルダムのホテルで平和運動のための儀式、「ベッド・イン」を行う二人。

▲米韓合同演習、北進を想定(3月17日)フォーカス・レチナと称する訓練を実施。超大型機を使用、米東岸から沖縄経由、韓国に兵員・兵器を降下させた。北朝鮮の侵略を抑止するねらいと説明された。



毎日新聞社

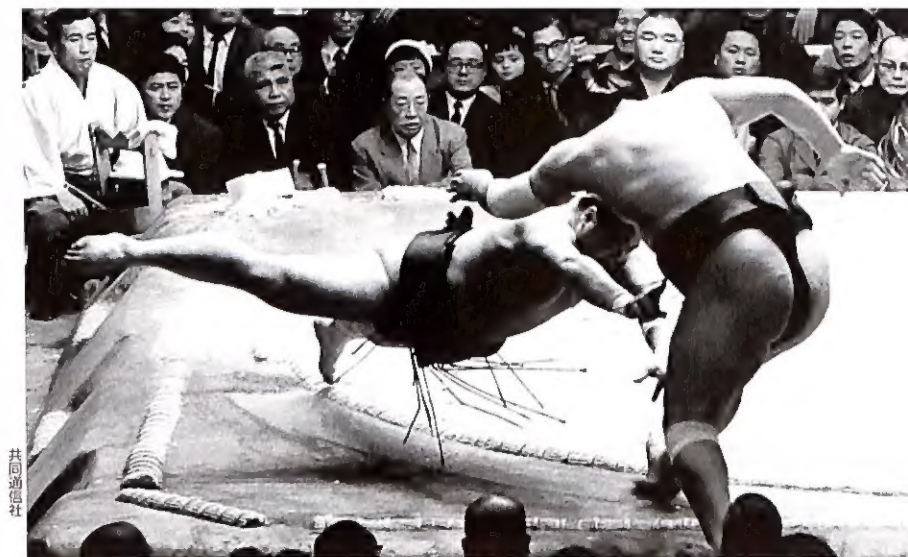
▲大阪市電廃止(3月31日)大阪港と市内を結ぶ交通機関として明治36年(1903)に開通、その後周辺にも路線を拡大した。自動車交通未発達時代には、市民の貴重な足として親しまれた。



時事通信社

▲日大全共闘議長・秋田明大捕まる(3月12日)公務執行妨害・凶器準備集合罪などの容疑で逮捕状が出てから半年ぶり。全共闘系学生の拠点を泊まり歩いていたが、この日、渋谷区の友人宅で雪かき中に通報された。

▼横綱大鵬、連勝45で止まる(3月10日)対戦相手は前頭筆頭の戸田。軍配ははたき込みで大鵬(背中)に上がったが、差し違えて敗れた。判定に対するファンの不満の声は強くビデオカメラ導入のきっかけとなった。



共同通信社

▼中ソが武力衝突(3月2日)ウスリー川のダマンスキー島(中国名・珍宝島)で死傷者多数を出した。国境がからむこの島の帰属をめくり、百余年前から論争や小競り合いが続けられていた。写真はソ連が発表した「挑発する中国兵」。



ソ連・アソシエート通信社



朝日新聞社

▶石炭運搬船「豊洋丸」座礁(2月5日)北海道・留萌港近くで針路を誤った。天候が悪く救出は難航、7日に自衛隊ヘリが12人を救出(写真)したが、8人はすでに死んでいた。



朝日新聞社

▲アラファト、PLO議長に選出(2月4日)最大の反イスラエル・ゲリラ組織の指導者で、パレスチナ奪回を宣言、アラブ各国の強い支持を受けた。写真は12月21日、アラブ首脳会議開会式でVサインする新議長。

▶伊勢神宮の宇治橋が替え(2月)昭和48年の遷宮をめざして工事。従来の橋を解体するため、聖域の五十鈴川にクレーン車などが入った。新橋は橋脚の一部がコンクリート製になる。



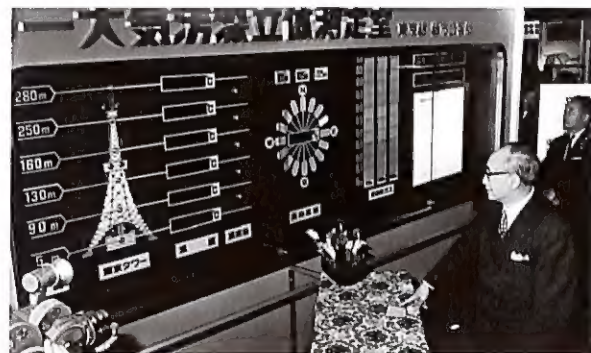
読売新聞社



読売新聞社

▲機動隊に守られて入試(2月7日)紛争中の大学で最初に入試を迎えた西宮市の関西学院大学は兵庫県警に警備を要請、反対派学生の怒号が響く中で試験を行った。

▶東京タワーに大気汚染立体測定室(2月15日)12日に決まった亜硫酸ガス環境基準を受けて設置。大気中の濃度を自動的に記録する。始動ボタンを美濃部都知事が押した。



読売新聞社

- 昭和44年3月
- 1(土) 第二次資本自由化措置。二〇四業種に拡大。
  - 2(日) 中ソ国境のダマンスキー島(珍宝島)の帰属めぐり両国が武力衝突(15日再度衝突)。
  - 3(月) マイカー族の増加で、大型駐車場つきのボウリング場やモーターが盛況、と新聞に。
  - 4(火) 合戦各社、東南アジアに進出積極化と新聞に。
  - 5(水) 武田泰淳、芸術選奨の受賞を拒否。
  - 6(木) P・F・ドラッカー「断絶の時代」刊行。
  - 7(金) 総理府、就業構造基本調査結果を発表。第三次産業と女性パートタイマーが増加。
  - 8(土) 大蔵省「密輸白書」を発表。金の密輸が急増。
  - 9(日) 米・韓国、大規模な軍事演習開始(20日)。
  - 10(月) 佐藤首相、衆院予算委で、沖縄返還は「核抜き・基本土土並み」で米を説得と表明。
  - 11(火) 「漁業白書」。就業者が初めて六〇万人割る。
  - 12(水) 東京で積雪三〇センチを記録。史上二番目。
  - 13(木) 都立武蔵高校卒業式で、覆面高校生二十数人が乱入し占拠。警官隊により排除。
  - 14(金) 北方領土を国土地理院の地図に加える決定。
  - 15(土) 劇団天竺麩の専用劇場、天竺麩館が開館。
  - 16(日) 全国七六カ所で七万人が反安保集会開催。
  - 17(月) イスラエルでゴルダ・メイア内閣発足。世界で三人目の女性首相。
  - 18(火) 相模湾、ビデオを勝負判定の参考にと決定。
  - 19(水) 文部省、相次ぐ自衛官受験拒否に関し、拒否は不当と全国の大学・短大に通告。
  - 20(木) ジョン・レノンとオノ・ヨーコが結婚。
  - 21(金) 船頭ストで中断していた四〇〇年の歴史を持つ京都の保津川下りが一年ぶりに再開。
  - 22(土) 大阪高裁、バー・キャバレーなどでのレコーズ無断使用に著作権侵害を認める。
  - 23(日) 汚職など不祥事による地方公務員処分は、三年間で八五三人、と新聞に。
  - 24(月) 救急車出動は一〇年で五・三倍と消防発表。
  - 25(火) 東京の銭湯料金値上げへ。大人三・五円。
  - 26(水) 航空自衛隊、バッチ・システム(自動防空警戒管制組織)の運用を開始。
  - 27(木) 動燃、高速増殖炉燃料の国産化に成功と発表。
  - 28(金) オリンパス光学、世界初の太陽検出用ファイバースコープを実用化と発表。
  - 29(土) 富田地下鉄東西線(中野・西船橋間、全通)。
  - 30(日) 海老原博幸、世界フライ級王座に返り咲く。
  - 31(月) 交通遺児育英会設立。九月から奨学金貸与。

- 昭和44年2月
- 1(土) 「セレンスター」発売。一箱一〇〇円。
  - 2(日) 三船敏郎主演の映画「風林火山」封切。
  - 3(月) 被差別部落テーマの映画「橋のない川」公開。
  - 4(火) 大阪国際空港の新ターミナルビル開業。
  - 5(水) 沖縄のB52撤去要求ゼネスト中止決定(4日、五五五〇〇〇人が総決起大会開催)。
  - 6(木) 名古屋市人口が二〇〇万人突破。四丁目。
  - 7(金) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 8(土) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 9(日) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 10(月) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 11(火) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 12(水) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 13(木) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 14(金) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 15(土) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 16(日) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 17(月) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 18(火) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 19(水) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 20(木) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 21(金) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 22(土) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 23(日) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 24(月) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 25(火) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 26(水) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 27(木) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 28(金) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 29(土) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 30(日) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。
  - 31(月) 都立市立の競光ホテルが全焼。三一人死亡。





証言・あの日この日  
安藤鶴夫(60)

2月1日(土)〈このあいだ、「こんにちは奥さん」というテレビの、ゲストで出た時、「猛烈社員」という特集をしていてね。齊藤なんかみたら、目をまわしそうな、すごい、猛烈社員ばかりが、ずらり、並んでいるのを、NHKのスタジオの、こっちのコーナーからみていて、びっくりしたのは、まるで、いいあわしたように、黒の背広に、テレビを意識したのであろうか、揃って、縞のネクタイなんだな(安藤鶴夫「ごぶ・ゆるね」)

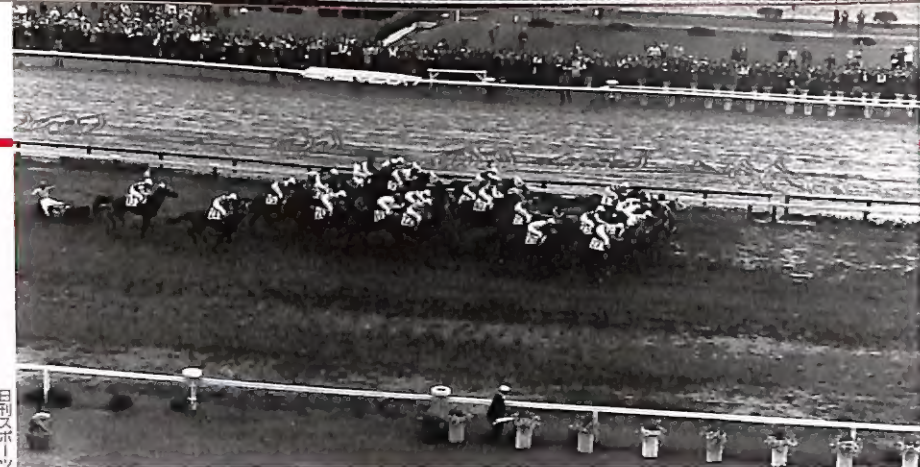
安藤が語りかけている齊藤とは、大学時代の同級生でボードレールやリラダンの名訳者として知られる仏文学者の齊藤磯雄のことだ。齊藤の勤務先、明治大学の近くを歩いていた安藤は最近の学生たちの服装のだらしさに憤り、学生時代の齊藤のダンディな黒背広を思い出し、連想はさらに今どきの黒背広族に向かう。(坪内祐三)

▼東名高速道路全通(5月26日)大井松田一御殿場(写真)間が完成、これで東京から愛知県小牧市までの約347キロが全通した。また名神高速道路と接続、東京一大阪間が1本の高速道路で結ばれた。



時事通信社

共同通信社



▲本命落馬(5月25日)東京・府中の東京競馬場で行われた第36回日本ダービーで、タカツバキがスタート直後に転倒、島田騎手を振り落とした(左端)。レースは56億円余の売り上げ新記録だった。



毎日新聞社

▼消える玉電(5月10日)62年間親しまれてきた東京の東急玉川線が廃止された。路面走行のない三軒茶屋一下高井戸間は残し、バス路線に転換、後に地下鉄新玉川線として再生。写真は「蛍の光」で送られる最終電車。

▼三島由紀夫 vs 東大全共闘(5月13日)呼び出しに応じた「論客」が、800人以上の学生たちを相手に、東京・駒場の東大教養学部教室で空間・時間、天皇、美などをテーマに2時間以上の論戦に挑んだ。



読売新聞社

▼毛沢東、文革の推進者を重用(4月14日)中国共産党の第9回全国大会で林彪が主席後継者に指名され、江青らが中央委員に選出された。写真は冒頭で団結を呼びかける毛沢東。

▲沖縄デーで夜の東京が大混乱(4月28日)首相官邸占拠などを叫ぶ学生らが東京駅ホームを占拠するなどゲリラ闘争を展開、965人が逮捕された。写真はこの日の銀座の様子。

▶日光の太郎杉伐採訴訟で建設省敗訴(4月9日)宇都宮地裁が「文化財は復元できない」と、国の道路拡幅工事を否定。翌年、東京高裁が一審を支持、建設省は上告を断念した。



朝日新聞社

▶全国サラリーマン同盟結成(4月13日)サラリーマンの団結と課税不合理の「撃滅」を掲げて旗揚げ。大阪・静岡などの各支部代表ら約200人が集まった。壇上は代表委員の愛知教育大教授・青木茂。

▲北朝鮮、領空侵犯の米偵察機を撃墜(4月15日)厚木基地を出発した機体とともに乗組員31人が行方不明。写真は2日後に日本海で発見され、20日、佐世保基地におろされた2遺体。



昭和44年4月

- 1(火) ●丸善石油のCM「Oh! モーレス」放映開始。前年の離婚は八万七〇〇〇件と厚生省発表。
- 2(水) ●北海道の雄別炭鉱でガス爆発。一九人死亡。
- 3(木) ●横須賀市の造船所で、貨物を積んだ船をそのまま運ぶ世界初のラッシュヨットが進水。
- 4(金) ●帝都で市川五郎の「三ツマンチャの男」初演。
- 5(土) ●皇居外苑に北の丸公園が完成。
- 6(日) ●周恩来、古井喜実と会談し対中国政策非難。
- 7(月) ●連続射殺事件容疑者の永山則夫、都内で逮捕。
- 8(火) ●米原潜湾基地の佐世保・横須賀・那覇の三市が放射能等対策連絡協議会を結成。
- 9(水) ●政府買い入れ米一千万ト、突如。米余り急拡大。
- 10(木) ●警視庁、少女一人を芸者置屋に転送した暴力団員ら一〇人をこの日まで逮捕。
- 11(金) ●東芝、独身男性など対象に銀座で料理教室。四〇人の定員に一日で申し込みオーバー。
- 12(土) ●国江津・ナホトカ間の海底電信ケーブル接続。
- 13(日) ●全国サラリーマン同盟(代表・青木茂)結成。NHK教育テレビが「コンピュータ講座」放映開始。テキスト七〇万部が売れる。
- 14(月) ●中国共産党大会、林彪を毛沢東の後継と決定。
- 15(火) ●水俣病を告発する会、発足。
- 16(水) ●炭労、石炭産業縮小策を原則的に了承。
- 17(木) ●チエコ共産党のドブチク第一書記、辞任。
- 18(金) ●皇太子夫妻に第三子誕生(紀宮清子内親王)。
- 19(土) ●国立予防衛生研、ライオン培養に成功と発表。
- 20(日) ●外貨準備高の急増で、大蔵省は外貨蓄積中心の国際収支対策を再検討、と新聞に。
- 21(月) ●ボストンマラソンで米合衆が大会新で優勝。
- 22(火) ●群馬県衛生研、東邦亜鉛安中製錬所周辺の大気から高濃度のカドミウムを検出と発表。
- 23(水) ●社会党本部に右翼が乱入、書記局員三人重傷。
- 24(木) ●地震予知連絡会が発足。
- 25(金) ●国鉄、東京・大阪間にノンストップの特急貨物列車「フレイトライナー」運行開始。
- 26(土) ●新潟県広神村で土砂崩れ。八人行方不明。
- 27(日) ●日本テレビ「コント55号」裏番組をフツ飛ばせ!! 放映開始。
- 28(月) ●社共が沖縄返還要求統一大会。反共産党系各派は銀座を中心に街頭闘争。九六五人逮捕。
- 29(火) ●日ノ漁業交渉妥結。サケ・マスは三割増。
- 30(水) ●中教審、大学への文相権限強化と文相に答申。

昭和44年5月

- 1(木) ●「イサナギ景気」が四三カ月目に突入。「春の景気」の四二カ月を抜く。
- 2(金) ●前年度国際収支発表。一六億三〇〇〇万の黒字で、過去最高だった昭和四〇年の四倍。
- 3(土) ●富士スピードウェイで日本初のインターナショナル・フォーミュラカー・レース開催。
- 4(日) ●北九州市で、公園に放置されていたアイスボックス中で窒息死した小学生一人の遺体発見。
- 5(月) ●名古屋の中江放送で火災。テレビ放送中断。
- 6(火) ●全沖縄軍労組、ベトナム行きを拒否すれば解雇とタグポート乗員に通告した米軍に抗議。
- 7(水) ●東京国立近代美術館、完工式。
- 8(木) ●八王子市の丘陵に、都心からの寺院移転がさかん。檀家はハイキング気分と噂され、新聞に。
- 9(金) ●国大協、大学立法に反対し文相に要望書。
- 10(土) ●東大のゲバルト・ローザ、柏崎千枝子、教官二人監禁の容疑で起訴される。
- 11(日) ●ニューヨーク・タイムズ紙、トヨタと日産が欠陥車を秘密裡に回収と暴露。
- 12(月) ●三菱重工、クライスラー社と合併覚書に調印。
- 13(火) ●東大で全共闘と三島由紀夫が討論集会。
- 14(水) ●警視庁、新宿駅西口のフォーク集会を禁止。
- 15(木) ●総合エネルギー調査会、燃料の低価格化推進のための専門部会設置を決定。
- 16(金) ●政府、自主流通米制度の導入を決定。
- 17(土) ●電電公社、フッシュホン電話の受け付け開始。●東京都金額の一等賞金が五〇〇万円から一〇〇万円に減額される。
- 18(日) ●アポロ10号「打ち上げ。初のカラ生中継。
- 19(月) ●四二八沖縄デーに破防法の扇動罪初適用。
- 20(火) ●立命館大学共闘、「わたつみの像」を破壊。
- 21(水) ●通産省、カドミウム汚染で足尾銅事業を検査。
- 22(木) ●体フィットするワイシャツが人気と新聞に。
- 23(金) ●初の「公害白書」発表(後の「環境白書」)。
- 24(土) ●若下志麻主演「心中天竺鼠」封切。
- 25(日) ●ダービーの売り上げが五六億円の世界記録。
- 26(月) ●東名高速道路、全線開通。名神高速とも直結。
- 27(火) ●東京美術倶楽部で日本初の美術オークション。
- 28(水) ●相模協会、大関の連続負け越しは転落と決定。
- 29(木) ●高橋和巳・野村修ら全共闘を支持する(一〇〇人の大学教員が「大学を告発する」報告集会。
- 30(金) ●閣議、新全国総合開発計画を決定。
- 31(土) ●東京都、「スピード」の廃止を決定。





▲国鉄ハイウェイ・バス営業開始(6月10日)前月に全通した東名高速道路の東京一名古屋間を5時間30分で結ぶ。定員40人、冷暖房・トイレつき。写真は東京駅八重洲口で行われた出発式。運賃は1600円だった。

◀ロングスカート流行(6月)5月頃から若い女性の間で目立ち始め、ミニのワンピースと合わせた。11月の佐藤首相訪米時の寛子夫人もこのファッション。



共同通信社

▶南ベトナムに臨時革命政府(6月8日)全土から集まった88人の代表により、6日から8日にわたって開かれた特別会議(写真)で決定。首班には解放戦線副議長ファトが就任した。

◀人家密集地帯でガス爆発(6月11日)東京・荒川区尾花橋通りの地下鉄工事現場で漏れていたガスに引火。鉄板100枚が周囲に吹き飛び、5人死亡、ガラス戸の破損が相次いだ。



読売新聞社

▶全沖縄軍労組、初の24時間スト(6月5日)賃上げ、解雇撤回などを要求、基地ゲートなどでピケを張ったが、米軍が写真のように銃剣で威嚇したため、まだ占領意識を捨てていないと問題になった。

◀出入国管理法紛争(6月1日)現行令の改悪だとして各地で反対運動が起こった。写真は新左翼系の「紛争実行委」が東京・芝公園で行ったデモ。約10人の欧米人も参加。



朝日新聞社

沖縄タイムス



昭和44年6月

- 1日 ●反戦青年会、三都市で出入国管理法反対集会。
- 2日 ●東京都多摩市で多摩ニュータウンの起工式。
- 3日 ●愛知外相、米国防務長官に安保自動延長を提案。
- 4日 ●国鉄、盲導犬の新幹線への乗車を認める。
- 5日 ●東大闘争裁判で、統一公判を要求する被告が出廷拒否。東京地裁は欠席裁判を進行。
- 6日 ●低アルコールビール「アップル・アップ」発売。
- 7日 ●大宮市の自治会が三菱重工業研究所に設置された実験用原子炉の撤去を求め提訴。
- 8日 ●伊東市でASAPC会議(9・11日)反対の学生が機動隊と衝突。八・九日で二八九人逮捕。
- 9日 ●IOC、選手への金銭援助を容認する国際スキー連盟の新規定を条件つきで承認。
- 10日 ●経企庁、日本のGNPは世界第二位と発表。
- 11日 ●トヨタ・日産、欠陥車は一九車種・四七万台と公表(16日、全メーカーで四六万台に)。
- 12日 ●日本初の原子力船「むつ」が進水。
- 13日 ●日立、レーザでの衛星測距に成功と発表。
- 14日 ●水俣病患者の二二二人、チッソへの六億四二二九万円の賠償請求を提訴。
- 15日 ●東京、日比谷で六・一五反戦・反安保集会。手配中の東大共闘代表・山本義隆が登壇。
- 16日 ●全通、四万人合理化案に反対し超勤拒否闘争。
- 17日 ●台湾政府、日本の留学に一時禁止措置。
- 18日 ●札幌高裁、白鳥事件(27年1月)の再審棄却。
- 19日 ●東京国税局、社用海外旅行の実態発表。社費による観光旅行は給与とみなして課税と警告。
- 20日 ●ローデシアの国民投票が「英からの独立」支持。
- 21日 ●都内の幼児の交通死亡事故は前年の倍と判明。
- 22日 ●一九五八年から一〇年間の工業生産増加率世界一は日本の二・四五割と国連統計。
- 23日 ●ウ・タント国連事務総長、人間の環境に関する諸問題」発表。世界的な環境破壊を警告。
- 24日 ●都市銀行六行参加し、ユニオンクレジット発足。
- 25日 ●学習院大で開学以来初の全学封鎖スト。
- 26日 ●水・二〇万、タンカーが堺港防波堤に激突。座礁。
- 27日 ●厚生省、生鮮食品の着色や漂白を全面禁止する方針を決定。
- 28日 ●硫黄島で遺族代表が戦没者顕彰碑の除幕式。
- 29日 ●新宿駅西口のフォーク集会に七〇〇人参加。機動隊と衝突し、六四人逮捕。
- 30日 ●東京、池袋のデパートでソウなどの動物セー。ル。トラが五〇万円と元れる。
- 30日 ●自民党、靖国神社国家護持法案を国会に提出。

20世紀博物館

竹中大工道具館 兵庫・神戸市

桑原茂夫



▲ここに並べられたおよそ180点の道具が、一人前の大工にとって必要なものだった。 石井英雄



▲木組みは、個々の材質を考えて行われる。

一九六〇年代後半なら、都市部でもまだに大工さんの姿を見かけることができた。釘をたくさん口にくわえて、一本一本すばやく取り出しながらストン、ストンときれいに打ちこんでいくリズムや、鉋から魔法のように出てくる、木目が透けて見える薄い鉋屑の匂いは、かすかに残っていたのである。

しかし、それから二〇年たらずの間に、ほとんど忽然と大工さんは姿を消していった。大工さんのあのワザはまさしく「木の国」のワザ。ただごとではないワザだった。それもまた消えてしまったのだろうか。

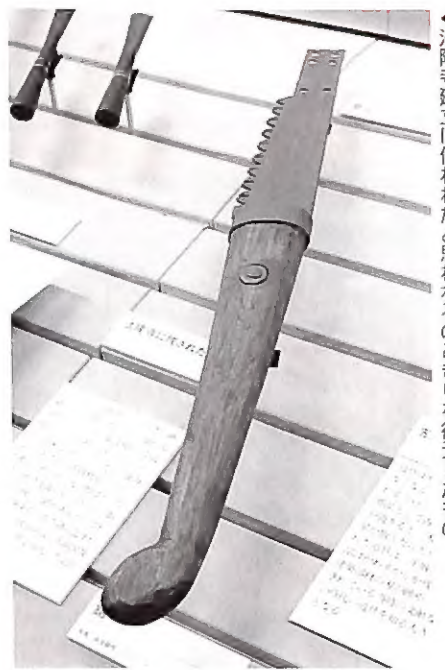
そんな思いを抱きながら、竹中大工道具館を訪れた。

その名からも推察できるように、この博物館は大手建設会社である竹中工務店の企画し、昭和五九年に開館。現在は財団法人竹中大工道具館がその運営にあっている。

竹中工務店は二六〇年代、慶長年間創業したというから、木造建築への思いは深い。それで博物館建設の趣旨も「木造建築の技術と心を残したい」という一点にあった。木造建築は、生きた木を相手に、生きた人間がチームを組んで行う作業だ。そこで用いられた道具も生きていく。だから「残す」というのも、ただそこに置いておけばいいというものではなかった。

これは観念的な話ではない。古代の道具のレプリカなどをぞいて、ここに展示されている道具は手入れをおこなわず、いつでも使える状態にしているというのだ。実際、地下の収蔵室の一角に、メンテナンスを行うコーナーがあって、そこでは元・棟梁(大工のリーダー)が、磨いたり削ったり、道具が本来の道具であるための作業をしているのである。

ところで大工道具とひとくちで言っても、実に多種多様である。昭和一八年に労働科学研究所が調査したところ、その



▲法隆寺建立に使われたと思われるのぎりを復元したもの。



▲地上階、地下一階、大工道具類一万余点収蔵

当時、一人前とされた大工が自分専用に使っていた道具は平均してなんと、八〇点! そのうち鉋が五〇点、鉋が四〇点を占めていた。これらを仕事の進捗状況などにあわせて、適宜選んで道具箱に入れて持ち歩いたのだという。

その種類(点数)の多さも並大抵ではないが、もっと驚かされるのは、それらのひとつひとつが、擦り切れるまで、徹底的に使いこまれていたという事実である。館長の毛利詰夫さんは淡々と話してくれた。

「実は、いい道具ほど残りにくいのですよ。いい道具は木の部分も鋼の部分も、手入れを重ねて使いこむので、最後には道具としての機能をはたさなくなつて、結局土に還っていくのです」

そうだ。道具も最後は土に還っていくのだ! 逆に言うと、ここにある一万点余の道具はまだ生きています。そして、どこかへ消えてしまった大工さんと、その素晴らしいワザを待っているのだった。

●竹中大工道具館

兵庫県神戸市中央区中山手通四一八―三五  
電話〇七八―四二二〇二六  
市営地下鉄東山駅前下車、徒歩五分  
開館時間九時三〇分―六時三〇分  
休館日二月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始  
入館料一一般三〇〇円



## ベストセラー

# テレビの力を見せつけた！

# 大河ドラマの原作『天と地と』

海音寺潮五郎の『天と地と』がベストセラーに名をつらねた。昭和三五〜三七年に『週刊朝日』に連載され、その後、上下二巻の単行本となって刊行されたものの、あわせて数万部とよりだったこの小説が、この年、NHK総合テレビの大河ドラマとして全国に放映されるや、その廉価版(全三巻)が急速に部数を伸ばした(各巻数十万部)のである。テレビメディアの力を、出版メディアがまざまざと見せつけられたわけである。

作品は、武田信玄と上杉謙信の拮抗ぶりを、謙信の側から描いたもので、作者

## ●昭和44年のベストセラー

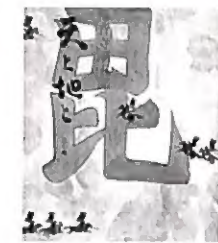
- 1位 『人間革命(5)』(池田大作／聖教新聞社)
- 2位 『天と地と』(全3巻／海音寺潮五郎／朝日新聞社)
- 3位 『対話 人間の原点』(小谷喜美・石原慎太郎／サンケイ新聞社)
- 4位 『科学と宗教』(池田大作／潮出版社)
- 5位 『都市の論理』(羽仁五郎／勁草書房)
- 6位 『改訂版 広辞苑』(新村出編／岩波書店)
- 7位 『赤頭巾ちゃん気をつけて』(庄司薫／中央公論社)
- 8位 『大もの小もの』(御木徳近／読売新聞社)
- 9位 『池田大作論』(矢野龍渓／大光社)
- 10位 『私はこう思う』(池田大作／毎日新聞社)

全国出版協会出版科学研究所

自身その理由を「清潔で、無欲で、心のどこかに東洋の虚無が漂い、凛々たる男性的気概を常に持っている」謙信に惚れたからだと言う。そして、この時代の武士は、「人間自然の素直な、つまり最も高い道徳観を持っていた」という作者の見方が全編を貫いている。

しかし、作者・海音寺潮五郎は、テレビによって売れたという事実に対して、作家引退を決意するほど、このことをよしとしなかったのである。

これと一見対照的な存在だったのが、庄司薫の『赤頭巾ちゃん気をつけて』だった。この頃の政治的な雰囲気からいうかのように、非政治的で、弱々しく、しかしどこかスマートな都会青年を浮かび上がらせたのは、軽妙洒脱な文体にあった。かつこつこつと頻りに注釈をつけたり、文末に「うしたわけなのだ」といった独特の言い回しを用いたりして、新しいタイプの小説を生み出した。また、時代をそのまま反映したベストセラーに羽仁五郎の『都市の論理』がある。全共闘運動のバイブルと目され、社会科学関係の本では異例のベストセラーとなった。



▲『天と地と』(各420円)



▲『赤頭巾ちゃん気をつけて』(360円)



▲『都市の論理』(950円)

## スターと名場面

# 激動の時代に悲しい恋の物語 『心中天網島』『私が棄てた女』

山田洋次監督・渥美清主演の「男はつらいよ」が封切られたこの年、その一方でシリアスな恋愛ドラマが話題を呼んだ。ひとつは篠田正浩監督の「心中天網島」で、近松門左衛門の原作を脚色するの、作家の富岡多恵子と作曲家の武満徹も参加、モノクロームの幻想的な画面に黒衣を登場させるなどして、特異な映像を作り出した。

もうひとつ、浦山桐郎監督の「私が棄てた女」も、追憶の場面にグリーンがかった色彩を基調にしたフィルムを用いたり、棄てられた女が故郷を回想するシーンにカラーを用いたりして、映像による心理描写を試みられた。

いずれも、現実に押しつぶされそうになる心のありようを描き、激しく揺れ動



▲『私が棄てた女』で、浅丘ルリ子(右)が、自分の夫のかつての恋人・小林トシエ(左)と対峙するシーン。



▲『心中天網島』では、篠田監督のシャープな映像感覚が光った。中村吉右衛門(右)と若尾文子(左)が主演。



▲田辺一や唐十郎、横尾忠則(写真)ら実名で登場させ、現実と幻想を交錯させた「新宿泥棒日記」(監督 大島渚)もこの年公開。

## モノ語り'69

# 「パンティストッキング」「プッシュホン」など 需要喚起型の商品群が登場



▲ミニスカートにあったパンティストッキング シームレスでストッキング革命を起こした厚木ナイロン商社が、続いて大ヒットさせたのが「パンティストッキング」(500円)だ。湿度の高い日本の気候には向かないのではという懸念を、レッグ上部の目を粗く編む技術を開発してクリア。折からのミニスカートブームとあいまって、この年には女性の必需品となった。なおパンティストッキングという名称は、創業者による造語で、英語ではない。

▲実際に調理するおもちゃ アサヒ玩具が発売した「ママレンジ」が、女の子たちの間で大流行した。実際にコンセントを差しこんで電源を確保するところから、この遊びは始まる。電気コンロの上に、フライパンのつており、ここに油をひいて、本物のホットケーキや目玉焼きを作ることができた。フライパンが小さくて厚みもないため、調理できるものは限られたが、子どもたちには十分楽しめた。



▲新しいフィルター式タバコの登場 国産では初のチャコールフィルター式タバコ「セブンスター」が日本専売公社(現・日本たばこ産業)から1箱(20本入り)100円で発売された。独特の製法でブレンドされた葉の香りや味を生かす目的で、フィルターにチャコール(活性炭)を混入したが、煙に含まれる刺激性成分の強いこみをおさえるというメリットも得られた。



▲水洗トイレをさらにきれいに トイレの芳香・防臭・防汚剤として、ロングセラーになっている「ブルーレット」はこの年の6月、1個360円(現在は250円)で小林製薬から発売された。洗浄成分ポリエチレングリコールに、青い色素と香りを付けたものだが、いつでも同じ色と香りを得る技術の開発などに4年余りの歳月を要した苦心の作で、水洗トイレの普及とともに定番商品になっていった。1個で約350回、使用できた。

▼プッシュホンの時代に入った コンピュータの発達は通信革命を起こしつつあったが、電話でも、コンピュータと直結できるプッシュホン・サービスが、日本電信電話公社(現・日本電信電話)から発売された。通常の電話機能のほか、短縮ダイヤル機能や計算機能も付加して、電話のイメージを変えた。



▼どうとうナナハンが生まれた この年8月10日「ホンダドリームCB750 FOUR」が本田技研工業から発売された。排気量736ccで、4気筒のエンジンを持つ、さっそうたる「ナナハン」の登場だった。高性能エンジンを搭載するために、変形にくいダブルクレードル式のフレームを採用、ブレーキも高性能のディスクブレーキという豪華仕様で、「最も速いマシン」の名をほしいままにした。価格は38万5000円だった。



▲CMで万年筆が話題になった パイロット万年筆(現・パイロット)が大橋巨泉の軽妙なCMとともに売り出した「エリートS」(2000円)が爆発的にヒットし、新学期セールでは生産が追いつかないほどだった。キャップはアルミで、ペンには大型18金ペンを採用、形は携帯に便利なショートタイプだった。

たばこ店の博物館提供



# 高倉 健(三八)

「昭和残侠伝」「網走番外地」など  
深夜映画館に唐獅子牡丹の旋風

昭和四四年、土曜日の夜になると、客席四七〇の池袋の文芸座には五〇〇一六〇〇人の若者や学生たちが殺到した。土曜日はオールナイトで「昭和残侠伝」網走番外地」「緋牡丹博徒」などが上映されていたからだ。

主演の「健さん」が登場すると、劇場内はどよめき、池部良(昭和残侠伝)が「一緒にします」と健さんと肩を並べると「異議なし」、警官や敵役が登場すれば「帰れッ、帰れッ」の手拍子で劇場内が騒然とした。人としての正義を貫こうとする健さんに、敵対するヤクザは執拗な攻撃をかけてくる。耐えに耐えるが、ついに怒りが爆発。唐棧の着物を片肌脱げば、背中の唐獅子牡丹が血に染まる。健さんは凶暴なほどの迫力を持って斬りこんでいく。学生たちは健さんの怒りに共鳴した。権力に対して死を賭して反抗する、青白い炎のようなものが見えたのだ。時代はちょうど大学紛争の真っただ中。学生たちは健さんの後ろ姿にみずからの姿を重ね合わせていたのである。

れ、故郷の東筑中学の時には、「行きたかう」と親友と二人でアメリカ密航をくわだてたりと腕白な少年だった。明治大学商学部を卒業し、ひよんな出逢いから昭和三〇年東映に入社。初めてのカメラテストの時、顔にドーランを塗ってカメラの前に立った。「そんな自分が惜けなくて、涙が出ましたよ」と嘆いている(アサヒグラフ)平成六年六月三日号。

昭和三一年、東映での彼の初仕事は「電光石火打ち」だった。三年後、人気絶頂の歌手・江利チエミ(当時)と結婚(四六年に離婚)。三八年、鶴田浩二主演の「人生劇場・飛車角」が、興行的にも成功し、後の東映路線をも決定した。翌三九年には高倉健主演の「日本侠客伝」、四〇年には「網走番外地」「昭和残侠伝」が誕生し、これら三本はシリーズとして定着する。ちなみに四四年には高倉健主演の映画は三本あり、ほとんどが侠客を主人公にした映画。

観客動員数も、一〇〇万人を超えた映画が何本もあり、健さんはまさにドル箱スターだった。任侠映画は約一〇年でその時代を終えるが、健さん自身はその後「君よ憤怒の河を渉れ」(五一年)、「八甲田山」「幸福の黄色いハンカチ」(五二年)と名作が続き、日本映画を代表するスターへと成長していった。



「日本侠客伝」網走番外地」と並ぶ高倉健の人気シリーズ第一作。昭和四〇年封切。



「日本侠客伝」網走番外地」と並ぶ高倉健の人気シリーズ第一作。昭和四〇年封切。



九六〇年代なかばからの東映任侠路線で、またフリーになつてからの「八甲田山」「幸福の黄色いハンカチ」などで、高倉健はストイックなヒーローを演じ、無類の存在感を示した。写真は昭和四一年撮影。



# テト攻勢から一年後の再会！ 掘り出された遺骸を前に 号泣するベトナム女性の悲劇

この年七月一九日号の「ライフ」に一枚の写真が掲載され、世界中の人々の注目をあびた。

白っぽい砂地の上に足を広げ、ノン（笠）を片手に座る若い女性が、号泣している。彼女の前には、緑色のビニール

シートに包まれた奇妙に小さな遺骸がある。シートは何か所か細い紐で縛られていて、五体が満足にそろっていないことがわかる。死体は前年一九六八年一月の

テト（旧正月）攻勢で犠牲になったベトナム中部の古都フエ市の住民で、解放戦線側に虐殺され穴に埋められていたものだ。戦況が落ちついた一年後、南ベトナム政府軍により掘り出されて、市民にわかるように並べられた。

戦争という極限の中での、静かな、それでいて深い悲しみが、強い日差しとともに表現されている。

この写真を撮ったのは、「ライフ」誌

に所属するラリー・バローズ（四二）だった。彼は古参のカメラマンとしてベトナム戦争に従軍。本誌六月三日号（一九六六年号）の「決定的瞬間」にも収録した、泥の中に横たわる傷ついたアメリカ軍兵士の写真など、印象深い作品を発表し続けていた。

ベトナム戦争にフリー・カメラマンとして参加していた石川文洋氏は、現地で三度バローズと会っている。

「彼は、『ライフ』の社員で、技術的にも優れているという、まさに大御所。しかも心のやさしい、物静かな人でした。一九六九年の五月、サイゴン（現・ホーチミン）のショロンで会った時、若い私

が自分の写真を売りこむと、『いい作品が撮れたら連絡してくれ』と言ってくれました」

アメリカ軍などとの間で激しい攻防戦を演じた。特にフエ市では戦闘が約一カ月続き、町の八割が破壊されるという激しさだった。攻勢を仕掛けた解放戦線側に多くの死者を出し、むしろ解放戦線側に犠牲の大きい戦いとなった。

しかし、一方ではアメリカに与えた精神的なショックも大きく、戦局全体としては大きな節目となった。同年三月、ジョンソン大統領は北爆の一方的停止、み

ずからの引退を宣言するなど、ベトナム戦争についての全面的な介入をあきらめ、次期大統領のニクソンにアメリカの苦悩を引き継いだのだ。ジョンソンに代

わって登場したニクソン大統領はアメリカ軍の撤退を国民に約束し、一九六九年七月八日にはその第一陣がサイゴンの港を出港する。ベトナム戦争はベトナム人

同士で戦えるということだった。

この写真は、アメリカ軍はよるが「ベトナムの悲劇はまだ続いている」とのメッセージでもあるかのようだ。



▲この写真を撮影したラリー・バローズは、一九七一年二月十日、取材のために乗っていたヘリコプターがラオス上空で墜落されて死亡する。45歳だった。



# 別荘地造成案に代わって 日本初の野外彫刻美術館 箱根二ノ平にオープン

昭和四四年八月一日、神奈川県箱根町二ノ平に日本初の野外彫刻美術館「箱根彫刻の森美術館」がオープンした。万坪（約三万三〇〇〇平方メートル）もの敷地に彫刻が立ち並ぶという大規模な野外美術館は、世界にも類を見ない規模である。フジ・サンケイグループの総帥で、後に初代美術館長となる鹿内信隆（五七）が、いつ頃からこの美術館の構想を抱くようになったか不明であるが、昭和三五年頃、彼はアントワープのミデルハイム公園やミラノの彫刻公園を訪れたり、現代彫刻の巨匠ヘンリー・ムーアを訪ねたり

していることなどから、おそらくその頃かであろう。

当時、多くの企業は日本各地で不動産の取得競争に走り、フジ・サンケイグループも箱根に用地を所有していた。社内では高級な分譲別荘地を造成する案が有力だったが、鹿内は何か文化的な事業で、大衆に還元できるようなものになりたいと考えていた。

鹿内の具体的な構想は、昭和四三年一月四日の日本経済新聞の随筆欄に寄稿の形で発表された。

「私がいま考えているのは箱根二ノ平に



▲ヘンリー・ムーア（英）作「ファミリー・グループ」1948～49年、ブロンズ



▲アリスティド・マイヨール（仏）作「とらわれのアクション」1906年、ブロンズ

が果を作るような深い谷の急斜面に、彫刻を設置できるような平地を造成する大工事となった。

美術館の計画にあたってコンサルタント会社に依頼した調査結果によると、日の入場者予測は五〇人から、一〇〇人。「経営的にはとても成り立つものではなく、暗におやめなさい」と言っているようなものでした。鹿内に自信があったかどうかはわかりませんが、そんな数字で終わるわけがないと彼は考えていたのでしょう。

「と美術館の事務局次長・宮本邦彦氏は語る。

オープニングには、企画展として「第一回現代国際彫刻展」が開催された。原弘がデザインしたポスターには、緑の森をバックに白抜き文字で「世界で初めての野外彫刻美術館 彫刻の森美術館」と入っている。

ところで気になる入場者数だが、オープンの年で約一〇万人。一九八〇年代には年間一五〇万人にも達し、バブル崩壊後も、一〇〇万人は入っているそうだ。

「この美術館が成功した理由としては、集められた彫刻のレベルの高さはもちろんですが、四季に応じて変化する山や温泉、遠く相模湾を望むことのできる自然景観の美しさにもよるところが大きいのではないのでしょうか」と美術館長・剣持邦弘氏は分析する。

箱根彫刻の森美術館には、その後もロダンやヘンリー・ムーア、ブランクシュ、マイヨールなど海外の代表的な彫刻家の作品が次々に集められていった。

「作品に手を触れないでください」と注意される美術館とは異なり、この美術館では、恋人たちがヘンリー・ムーアの彫刻によりかかって写真を撮ったり、子どもたちがピーター・ブラスの作品「しゃぼん玉のお城」の中にもぐりこんで遊んだりしている。この魅力はたんに彫刻を鑑賞するだけでなく、広大な景色の中で遊びと遊べる点にあるのだろう。国内・海外の彫刻家は、ここに作品を置きたいと希望し、ここで開かれるコンクールは若い彫刻家に刺激を与えるとともに、いろいろな支援を行っている。鹿内の構想はみごとに開花した。



▲箱根の美しい風景の中で、彫刻は輝きを放っている。ここにはヘンリー・ムーアや流政之の作品が見える。写真右方の建物はピカソ館（昭和59年開設）。ピカソの陶芸作品などが展示されている。

箱根彫刻の森美術館提供（3点とも）



# 「Oh! モウレッツ」のCMが流れる中で 日本のGNP、50兆円の大台突破! 「世界第2位」でやって来た「豊かな時代」



▲昭和47年頃のテレビ組み立て工場。企業の積極的な設備投資により、効率のよい、明るく清潔な工場が、全国に次々と登場した。松下電器産業提供



昭和四十四年六月、日本のGNP（国民総生産）が自由世界第2位となった、と発表された。働き続けて「焼け跡、闇市」「タケノコ生活」などという言葉から脱け出した世代にとって、まさに「言うに言われぬ感慨」だった。日本経済は毎年二〇近い高成長が頂点を迎えていた。

日本中が高度成長の恩恵を満喫していたサラリーマンの平均年収の伸びを見ても、前年の昭和四十二年の約六・五万円が、この年には七・一万円へ、さらに翌四五年には八・三万円へと一具含だった。給料が毎年平均一五割ずつもふえ続けていたのである。

経済企画庁はこの年の六月一〇日、昭和四十四年の日本のGNP（国民総生産）が、前年の年に比べ約九・九割、五・九兆九・〇億円と初めて五〇兆円の大台を突破したと発表した。ついに西ドイツを抜きアメリカに次いで西側諸国での第2位を記録した。日本は自他ともに認める「経済大国」になったのである。

企業規模の拡大も急だった。この年発表されたアメリカの経済誌「フォーチュン」（八月五日号）恒例の「世界の大企業」

## 「イザナギ景気」のおかげで 年収も毎年一五割ずつ増加

昭和四十四年六月、日本のGNP（国民総生産）が自由世界第2位となった、と発表された。働き続けて「焼け跡、闇市」「タケノコ生活」などという言葉から脱け出した世代にとって、まさに「言うに言われぬ感慨」だった。日本経済は毎年二〇近い高成長が頂点を迎えていた。

# 新宿

「現場」を歩く

山本徹美

西口地下広場を奪われた  
反戦フォークとホームレス



昭和四十四年六月二八日夜、警視庁は、新宿駅西口地下広場で「反戦フォークソング集会」を開いていた約七〇〇〇人に、機動隊を出動させ、催涙ガス弾を放つなど排除にあたった。その際、公務執行妨害などの容疑で六四人が逮捕された。新聞などではこれを「新宿西口地下広場事件」と呼んだ。

▲広場の一面は段ボールなどで作られたホームレスの人たちの「住居」になっている。

▲昭和四十四年五月二十四日、新宿駅西口地下広場の「フォークソング集会」で、約七〇〇〇人が集結。

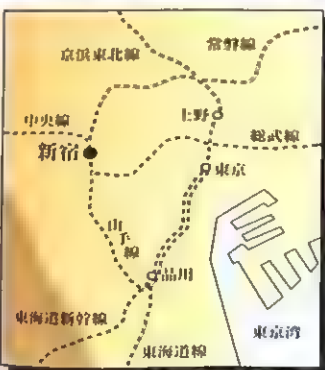


当時も今も、新宿駅西口はおびただしい数の人であふれているが、その頃は土曜日「こと」若者が集まり、「友よ」や「機動隊ブルース」などのフォークソングを合唱したり、討論を交わすなどしていた。彼らから「新宿西口のマドンナ」と呼ばれていた大木晴子さん（当時二〇歳）が、二八年前を振り返る。

「集会はその年の二月下旬、ベ平連の仲間たち一〇人くらいで始めたんです。ギターの伴奏で私が歌って、戦争反対を訴えたところ、行き交う人たちが興味を持ってくれ、輪が広がりました」

「ベ平連」（ベトナムに平和を！市民連合）は非暴力で反戦を訴える市民運動をめぐっていた。フォークソングの会は毎週土曜、午後六時から開始した。回を重ねるごとに参加者はふえてゆく。その頃受験生で、四月には大学生となる山本コウタロー氏（現・音楽プロデューサー）も、聴衆の一だった。

「広場には若者だけではなく、老人や白別、職種を越えていろんな人がたくさん集まっていた。その絆となったのがフ



オークソングでした。そこでは音楽の持つ力というものを認識させられた。だけど、ケバ棒を振りかざしてセクトで闘っていた連中は、はくらは軟派と見ていたようでした」

集会に来る人々は、誰もヘルメットや角材で「武装」などしていなかった。それが、春頃から変化する。

「集会の規模が巨大化してから、会の性格が変わったように思います。セクトの人の姿を見かけるようになり、警察側は警戒色を強めました」（大木さん）

## 広場がいきなり通路に

集会の自由は憲法で保障されている。そこで警察が持ち出したのはなんと道路交差点だった。五月、四月、西口の柱に「通路であるため、演奏やビラ配りなど、通行の妨げになる行為を禁止する」と、張り紙で告知。随所に表示してあった西口地下広場の「地下広場」部分にはガムテープを貼って、消した。

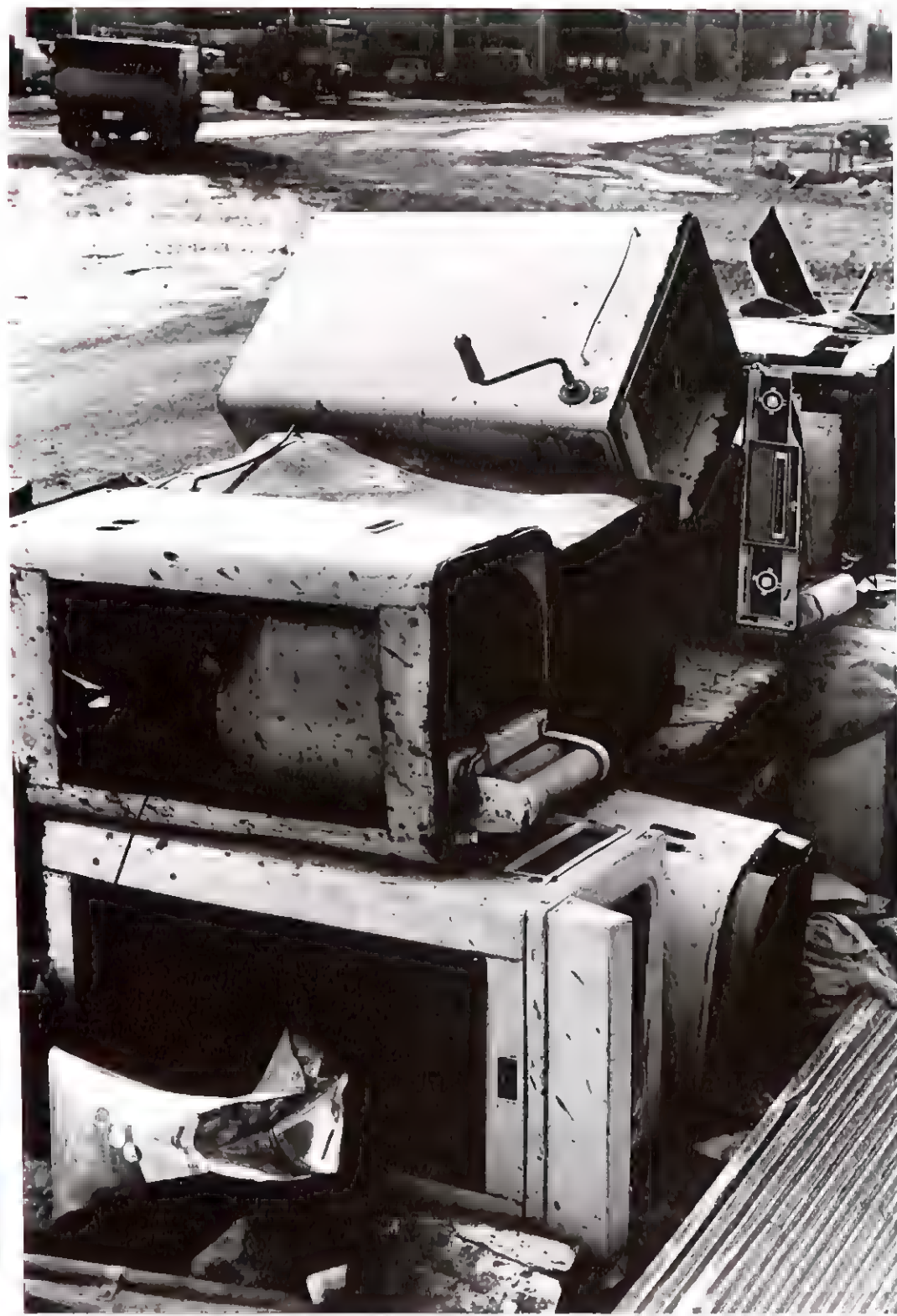
それまで広場だったのが、いきなり通路になるなんて……。権力の横暴を目の当たりにする思いでした。

大木さんたちは警察の通告を無視。集会を重ねていたが、ついに機動隊の前に強制的に立ち退かされたのである。

私たちは広場を奪われた。それだけにホームレスの人たちには順張ってほしい。

と、大木さんは今や西口の「名物」と化したホームレスにエールを送るのである。





▲捨てられた電気洗濯機。高機能で使い勝手のよい新型が続々登場し、大量の「粗大ごみ」を生み出した。毎日新聞

Mだ。徹頭徹尾、「前向き」の時代だったのだ。四三年頃からは、大物俳優の起用も目立つようになった。三船敏郎、高峰秀子、石原裕次郎、渥美清、森繁久弥

らが一斉に製薬会社のCMに登場している。好調な企業収益をバックに、カネに糸目をつけない時代が始まっていた。四四年の広告費は経済成長率にほぼ比



▲サラリーマンは、まず仕事第一、

例して約二〇割の伸びで、六三・八億円に達していた。そして外国のトップスターも続々上陸し始める。トップバッターがチャールズ・ブロンソンだった。彼を起用したマンダム（男性化粧品）シリーズは爆発的な売れ行きを示し、社名も「丹頂」から「マンダム」に変更したほど。それに続き、堰を切ったように大物「外国人タレント」が登場する。オードリー・ヘプバーン（日本エクスラン）、カトリ・ヌード（日本エクスラン）、アラン・ドロン（ターバン）などである。

一〇月に発売された日本初の豪華なスポーツカー「フェアレディZ」（日産）は、お洒落でファッション感覚を備えた自動車の時代の幕開けを告げた。大衆車サニーが四・万五〇〇円（ドアセダ、東京店頭渡し）だったのに対し、フェアレディZは八六万円（同）と、倍以上の価格にもかかわらず、好調な売れ行きを示したのである。

戦後のベビーブーム世代が成人し、特に膨大な女性ユーザーが登場したことも、マーケティングの地盤変動を決定的にした。その牽引車のひとつが、昭和四一年から始まった前田美波里（当時・八歳）が水着姿で登場する夏用化粧品CMである。若い女性の多くが「ハーフでスタイル抜群の彼女のようにになりたい」と化粧品を買い求め、ブームはCMとは直接関係のない水着にまでおよんだ。

さらにこの年、東京・池袋に「都会の働く女性をテーマにした」パルコがオープン。百貨店スタイルでなく、女性の食指を刺激する「欲求品」にしほりこんだ商品構成で、若い女性の人気を集めた。また、主婦の水泳教室が趣味と実益を兼ねた娯楽として活況を呈し、ママさんバレー初の親善大会が開催されたのもこの頃。まさに、女性が豊かさを享受する時代が到来していた。

当時の日本社会は、どこを見ても自信と活気と夢にあふれていた。

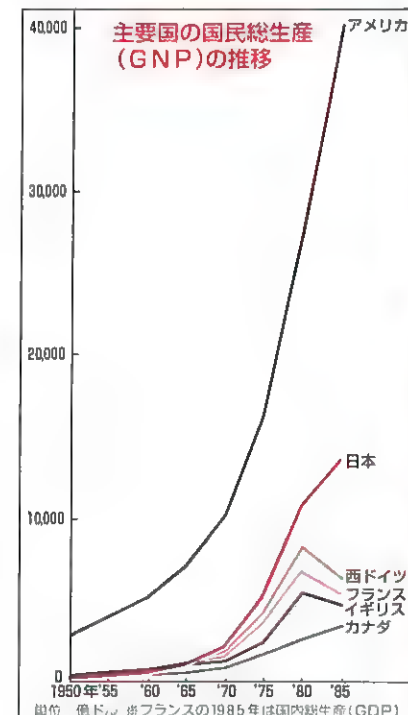
このように華やかに世界の表舞台に再登場した日本だったが、世界的に景気が後退する中、「日本がすさまじい輸出攻勢をかけるのでは」という警戒心が欧米諸国に生まれ、後の貿易摩擦の第一歩を踏み出すことになる。

「モウレツ社員」であることが要求された。軍隊式の朝礼を行う会社も少なくなかった。毎日新聞

## チャールズ・ブロンソンら外国人タレントがCMに

こうした経済界の躍進に敏感に反応したのがテレビCMだった。この頃から一五秒という短時間のスポット広告が流行し始める。広告出稿量が急増したための苦肉の策だったが、短時間でインパクトのあるものを、ということから、後に映

動を起こしつつあった。こうした中で、国民のニーズも地盤変動を起こしつつあった。



画監督として「異人たちの夏」などを撮った大林宣彦ら若手実力派を起用し、巨額の制作費を投入した作品が続々と目に見える。そして、時代風潮を象徴するように、昭和四三年には「大きいことはいいことだ」（森永エールチョコレイト）が、世を風靡した。続くこの年は、高度成長を支えた企業戦士にエールを送るような「Oh! モウレツ」（丸善石油、現・コスモ石油）が大ヒットする。モデルだった小川ローザ（一）のフレアミニがめくれ上がるセクシーC

▼初の超高層ビル、「霞が関ビル」は昭和43年に完成した。毎日新聞



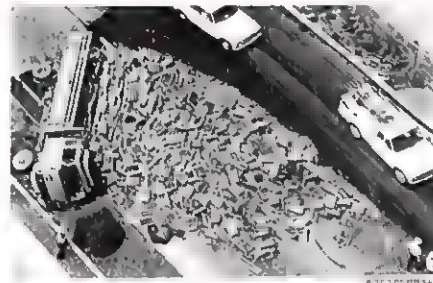


フォト+日録で再現する365日

▶英チャールズ王子が華やかに立太子式(7月1日)エリザベス女王から冠を受け、プリンス・オブ・ウェールズ(英国皇太子の称号)になった。皇太子は20歳、これでチャールズ3世として王位につくことが約束される。



WPP



朝日新聞社



朝日新聞社



共同通信社

▲横綱柏戸、引退(7月9日)体力の限界を理由に大相撲名古屋場所4日目に発表。昭和29年初土俵。36年秋、大鵬とともに第47代横綱に昇進した。柔の大鵬、剛の柏戸と言われ柏戸時代を築いた。優勝5回。年寄錦山を襲名。

▶名神高速に清涼飲料水の空き瓶散乱(7月3日)午前10時半頃、吹田市山田下の上り線で4トントラックが横転、積み荷が崩れて路面上を広くおこった。一時は路肩の1車線しか使えず、2キロ近い渋滞が続いた。



WPP



WPP

▲米上院議員エドワード・ケネディ、同乗女性を死なす(7月18日)マサチューセッツ州で川に車ごと転落、自分は脱出した。写真はギブス姿で葬儀に出席する議員と引き上げられた車。この事故で大統領選出馬を断念した。

▶ベトナムで米軍の撤退始まる(7月8日)国内の反戦運動の高まりとふえ続ける犠牲に、6月8日、ついにニクソン大統領が決意。写真は第一陣2万5000人の中に選ばれて喜ぶ非武装地帯の南、ラオス国境近くの基地の部隊。



朝日新聞社

▲無念の太田幸司投手ら三沢高ナイン、帰郷(8月21日)夏の高校野球決勝戦で松山商と対決、4時間16分の熱闘も延長18回0対0で引き分け、翌日の再試合で優勝を逸した。太田は4日連続45イニングを投げ抜いた。

▶女優シャロン・テートら惨殺(8月9日)ビバリーヒルズにある映画監督ボランスキー(右)邸で妻のテート(左)ら男女5人の惨殺体発見。壁に「PIG」の血文字があった。ヒッピーのマンソンら4人の犯行だった。



WPP

▼交通事故死、早くも1万人目(8月28日)1万人突破が最速だった昭和41年より28日も早く、最悪の結果。写真はその現場で、御殿場市で大型トラックが老人の乗った自転車をはねた。



読売新聞社



朝日新聞社



証言・あの日この日 高橋和巳(37)

3月2日(日)〈早朝、報道関係者だと自称する人物から奇妙な電話があったのを私は覚えている。内容をその言葉のはしばしまでは正確には記憶していないが、要するに、入試阻止運動の山場となる場所と日時を教えてくださいということだった。そんなことを私が知っているはずはない〉(高橋和巳「わが解体」)

東大の入試が中止されたこの年、同様に危ぶまれていた京大の入試は翌3日から校外14カ所に分散された受験場で行われ、全共闘を支持していた文学部助教授・高橋和巳も市内某銀行の階上を借りての採点に駆り出される。その直後、彼が鎌倉の自宅に戻っている間に開かれた団交で、学部側は学生たちへの公約をひるがえし、学生は学部全館封鎖に突入。高橋も、濁官より流す害毒がはなはだしい清官教授であると批判される。(坪内祐三)

▼ニューヨーク郊外ウッドストックで史上最大のロックコンサート(8月15日)愛と平和を合い言葉に集まった若者たちは40万人。3日間の祭典に全員が酔った。

▶原爆記念日の広島に反戦の叫び(8月6日)夜の平和公園で平連がフォーク集会(写真)。広島大では全共闘が決起大会。「折りより反戦」の声が強かった。



TIME LIFE PPS

昭和44年7月

- 1 火 ●東京地裁、女性 ○歳定年制は無効と示す
- 2 水 ●東京公害防止条例公布
- 3 木 ●桂枝司会「ヤングおー」おー! 放映開始
- 4 金 ●閣議、生活水準の分析が不適当と「国民生活白書」を承認せず(8日、修正して了承)
- 5 土 ●休職教師の二八・四アノイローセと判明
- 6 日 ●成田空港反対派の「里塚平和塔」が完成
- 7 月 ●九大教授・井上正治、学長代行任命を文部省が拒否した件に関し、文相の謝罪求め提訴
- 8 火 ●米軍、南ベトナムからの撤退を開始
- 9 水 ●横綱柏戸、引退。柏戸時代が終わる
- 10 木 ●工業技術院、超伝導を利用したMHD(電磁流体)発電の実験に世界で初めて成功
- 11 金 ●米ナビスコ社、日本進出へ合弁会社設立決定
- 12 土 ●第一八回技能五輪で日本はメダル獲得一位
- 13 日 ●都議選で自民第一党、社会は第二党に転落
- 14 月 ●エルサルバドルとホンジュラス、サッカーの勝敗をめぐって国交断絶し、戦闘状態に突入
- 15 火 ●KOD、国際間アタ通信業務を開始と発表
- 16 水 ●東京地裁、六一歳以上の家事労働は経済的に評価できないと判示
- 17 木 ●日本育英会、紛争のため留年した ○大学の一万六〇〇人に、奨学金停止の方針決定
- 18 金 ●米紙、沖縄の米軍基地で毒ガス事故と報道
- 19 土 ●警視庁、フオーク集会を禁止するため新宿駅西口広場を「通路」と規定
- 20 日 ●「アポロ11号」、人類史上初めて月面に着陸
- 21 月 ●経済同友会、地価抑制に私有権制限を提言
- 22 火 ●文部省、初の肥満児全国調査結果を発表。部課長の子に多く肥満児は少ない、など
- 23 水 ●社会党、三井東洋の枯れ葉剤原料製造を追及
- 24 木 ●全国九六大学、大学立法反対の声明発表
- 25 金 ●包装食品への添加物表示などが義務づけられる
- 26 土 ●杉並区のごみ焼却場建設反対派、焼却場を阻止
- 27 日 ●野放しの家畜用抗生物質、厚生省が食品への残留など影響調査へ、と新聞に
- 28 月 ●M.F. 第三の通貨SDR創設を正式決定
- 29 火 ●早川電機、新型平帯型、ガリウム砒素素性抵抗発光素子を開発。光通信への応用などに期待
- 30 水 ●急減する蒸気機関車、盛期には五〇〇〇両以上あったが、現在は二二六両、と新聞に
- 31 木 ●日米宇宙開発技術協力交渉、妥結

昭和44年8月

- 1 金 ●神奈川県箱根町に彫刻の森美術館が開館
- 2 土 ●本田技研「ホンダドリムCB750」発売
- 3 日 ●参院本会議、大学の運営に関する臨時措置法(大学立法)を賛否両論で可決
- 4 月 ●TBS、東野英治郎主演「水戸黄門」放映開始
- 5 火 ●パリのサンローラン・ショー、ニューファッションは三からマキシへ、と新聞に
- 6 水 ●広島中国放送、米軍撤退の原爆映像を「幻のフィルムは語る」と題して放映
- 7 木 ●二日にかけて、東北・北陸中心に豪雨。死者・行方不明者四一人、耕地の被害も大
- 8 金 ●東京・銀座のデパート、通行人に富士山の空気の缶詰七〇〇個を配る
- 9 土 ●米女優シャロン・テートら五人惨殺される
- 10 日 ●庄司薫「赤頭巾ちゃんを連れて」刊行
- 11 月 ●シンナー遊び流行、本年すでに死者一〇〇人
- 12 火 ●北アイルランドで、カトリック系住民と警官隊・プロテスタント系住民が市街戦展開
- 13 水 ●農林省、新潟県を中心とする一日までの集中豪雨で農林被害約一九億円と発表
- 14 木 ●千葉県全域の海水浴場で大団のクラゲ発生
- 15 金 ●米でウッドストック・フェスティバル開催
- 16 土 ●通産省、反対の世論が強く騒ぎも止まった西宮市での都道府県選抜競輪中止を通告
- 17 日 ●広島大に機動隊導入され、封鎖解除始まる
- 18 月 ●夏の甲子園、決勝の三沢高対松山商は延長一八回引き分け(翌日再試合で松山商優勝)
- 19 火 ●総務庁長官、視察中に漁船追突の津船自撃
- 20 水 ●農林省、二〇万規模の本格的減反検討開始
- 21 木 ●小学校の女性教師が半数超えると文部省発表
- 22 金 ●週刊ポスト(小学館)創刊
- 23 土 ●茨城県鹿嶋市で毒ガス発生、二一〇棟が全半壊
- 24 日 ●警察庁、台風九号被害を調査(一八人死傷)
- 25 月 ●油症事件でカネミ食品社長二人を再逮捕
- 26 火 ●長野県松本営林署、この日までに雪割る高山植物荒らし一五一五(一)人を摘発
- 27 水 ●男はついでに、シリーズ第11巻刊行
- 28 木 ●日大紛争発端の「億円脱税事件」が不起事
- 29 金 ●三〇回優勝の大鵬、一代年寄の名跡受け
- 30 土 ●沖縄コザ市で黒人兵と米軍MPが、市街戦
- 31 日 ●文相、内紛の東大に臨時措置法適用を再提



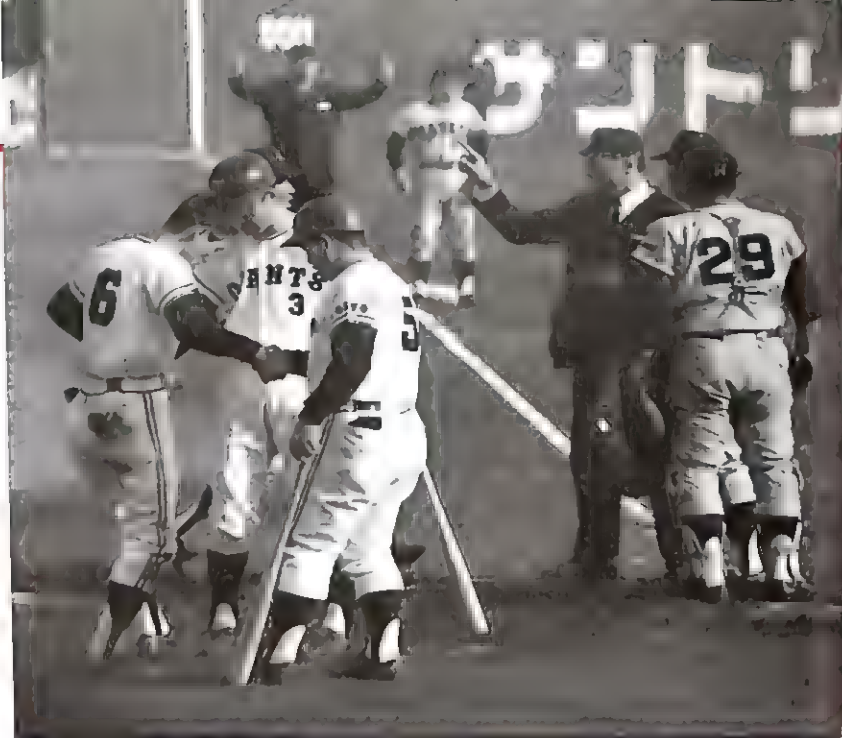


朝日新聞社



▲陸上自衛隊が「暴徒鎮圧」演習を初公開(10月3日)約400人が御殿場市の東富士演習場集まり、ヘルメット姿の暴徒役隊員を催涙液放射器つき戦車で追うなど、迫力満点の治安行動訓練を行った。

▲サド著「悪徳の栄え」、有罪確定(10月15日)最高裁が「芸術性があるも猥褻」として翻訳者・瀬澤龍彦(中央)と発行者の現代思潮社・石井恭二(左)の両被告に、猥褻文書販売・所持罪で罰金刑を言い渡した。



朝日新聞社

▲日本シリーズ初の退場(10月30日)後楽園球場で行われた巨人-阪急戦の第4戦、巨人・土井の本盗が成功。これを不服とした阪急・岡村捕手が審判を突き飛ばし退場となった。写真は退場を宣告する岡田主審。

▼シラス漁に「ビニール公害」(10月)静岡市用宗漁港では、捨てられた家庭のポリ袋やハウス栽培のビニールが海底にたまり、漁網にからまる被害が続出している。年間2億円を誇ったシラスの漁獲高が4割も減ったという。

▼千葉県松戸市役所に「すぐやる課」(10月6日)役人の「不親切で遅い」のイメージ掃がねらいで、課員二人が市民の苦情を迅速に処理。初日は苦情14件のうち半数を片付けた。写真は初代課長の臼井銀次郎氏。



朝日新聞社



読売新聞社



朝日新聞社

▲封鎖中の京大周辺で「市街戦」(9月20日)机などで今出川通にバリケードを築いた学生と機動隊が衝突、誤って火炎瓶の火をあげた学生も(写真)。大学側は機動隊導入で22日封鎖を解除した。



朝日新聞社

▶マーガレット王女、皇太子ご夫妻と歓談(9月28日)東京で26日から開催された英国フェアに出席するため、夫君のスーザン卿とともに来日。この日は東宮御所を訪問、ともに散策を楽しんだ。



読売新聞社

▲東大全共闘代表の山本義隆逮捕(9月5日)東京の日比谷公園で開かれた全国全共闘連合結成大会の会場に入ろうとして進行された。東大安田講堂事件で、凶器準備集合罪などの容疑で追われてから228日目だった。



▲全国全共闘連合結成大会(9月5日)東京の日比谷公園に46大学の全共闘と、革マル派をのぞく反日共系8派の学生約1万人が集結、議長に東大全共闘代表の山本義隆が就任した。

CORBIS-BETTMANN / PPS



▲ホー・チ・ミン北ベトナム大統領死去(9月3日)民族解放に大きな足跡を残した巨星の死だった。79歳。写真は国会に安置された遺体。9日、南北統一を呼びかける遺言が発表された。

▼カダフィ、リビアの全権掌握(9月1日)軍事クーデターで王制を打倒し、革命評議会議長に就任。写真は1971年のアラブ連邦結成時で、中央がカダフィ。左はエジプトのサダト大統領。

昭和44年 10月

- 1(水)●コンコルド、試験飛行でマッハ1(五記録)●藤純子主演、緋牡丹博徒、鉄火場列伝、封切
- 2(木)●日米航空交渉妥結、日本はアンカレッジ経由ユーロ線とグラム線を獲得
- 3(金)●日本初の本格商用原子炉、日本原子力発電敦賀発電所で臨界に到達(45年度から営業運転)
- 4(土)●トリノ、8時、11時、15時、18時、21時の5回、放映開始
- 5(日)●アポロ11号、月の石、カサリ、到着
- 6(月)●松戸市役所に苦情処理の「すぐやる課」発足
- 7(火)●巨泉、前武ゲバゲバ90分、放映開始
- 8(水)●東京で国際放射線医学会議開催、日本の早期胃癌発見率や治療率が各国の称賛あびる
- 9(木)●ダスティン・ホフマン主演「真夜中のカーボーイ」封切
- 10(金)●プロ野球の金田正一投手、四〇勝を達成
- 11(土)●通産省、電力・石油業界で公害防止への投資が大幅増、設備投資の五二・五割を占めると発表
- 12(日)●成田社委員長、浅沼利政九周年集会で「日米帝国主義はアジア人民共通の敵」と演説
- 13(月)●国民の過半数が社会活動に消極的と総理府調査
- 14(火)●西武鉄道、特急レッドアロー1号の運行開始
- 15(水)●鹿島港開港、二〇万、級が接岸できる人工港
- 16(木)●日経連の松田武代表理事、総会で、自主防衛のため憲法改正必要と発言
- 17(金)●運輸白書、発表、自動車旅客輸送一位に
- 18(土)●日産、ノア・アレックス、発表
- 19(日)●八戸で漁船と貨物船が衝突、七人死亡
- 20(月)●東京、渋谷で粗大ごみの収集始まる
- 21(火)●西武百貨、フロンティア、発表
- 22(水)●最高裁、総会屋使用発言は違憲と判示
- 23(木)●米グッド・ウィヤーズ、日本進出に本腰と新聞に
- 24(金)●閣議、放送大学問題懇談会の設置を決定
- 25(土)●世界柔道選手権日本が全六階級を制覇
- 26(日)●西武のマルク引き上げ受け円・ドル力と新聞に
- 27(月)●富士山五合目に公衆電話設置、通話開始
- 28(火)●三菱重工、米クワイスター社との合弁会社設立大綱を承認、自動車部門独立へ
- 29(水)●
- 30(木)●
- 31(金)●アポロ11号、の飛行17文化勲章、少

昭和44年 9月

- 1(月)●
- 2(火)●都衛生局、うさぎの肉が混入された豚ひき肉販売発覚、食肉店七〇〇軒を一斉調査
- 3(水)●北ベトナムのホー・チ・ミン大統領、死去
- 4(木)●愛知、外相が訪ソ、コスイギン首相と会談、北方領土問題で意見対立
- 5(金)●全国全共闘連合結成大会、四六大学が参加
- 6(土)●主婦連、地婦連、競輪収益金の受け取りに抗議して消費者協会理事を辞任
- 7(日)●
- 8(月)●名古屋の松蔭高校で、生徒が試験を告に放火
- 9(火)●
- 10(水)●渋谷区の小学一年生誘拐(一日遺体で発見)●司葉子、大蔵省の相沢英と結婚
- 11(木)●食品衛生調査会、石油蛋白の安全性を検討するため特別部会を設置と決定
- 12(金)●
- 13(土)●書院行など、全国全共闘連合結成大会に初登場した赤軍派の拠点大学など五カ所を捜索
- 14(日)●平賀礼儀地裁所長、長沼ナキ訴訟に干渉する書簡を担当裁判長に送った事実を認める
- 15(月)●屈斜路湖で観光用の熊が五歳男児を噛み殺す
- 16(火)●米大統領、ベトナム第一次撤兵計画を発表
- 17(水)●徳島知事選で、初のテレビ政見放送
- 18(木)●永野重雄、日商会議所に就任
- 19(金)●主婦連、ジュースの品質検査結果を発表、果汁一〇〇割は一〇〇割中三種のみ
- 20(土)●イギリスのマーガレット王女来日
- 21(日)●京大に機動隊導入(22日、封鎖の学生排除)
- 22(月)●世界重量挙げ選手権フェザー級で三宅義行優勝、兄・義信と合わせ日本が六回連続優勝
- 23(火)●お経のレコードが静かなブーム、と新聞に
- 24(水)●デボノ「水平思考の世界(講談社)」刊行
- 25(木)●警視庁、この日までに新宿のデイトクラブ経営者五七七人を詐欺などの容疑で逮捕
- 26(金)●電報公社は、電話番号の変更などを自動的に案内するサービスを開始、と新聞に
- 27(土)●反共産党六派が高校生安保紛争共闘会議結成
- 28(日)●北海道、真狩村で日本初の熱気球飛行が成功
- 29(月)●北陸本線全線の複線化、電化完成
- 30(火)●日本航空、シドニー線開設、初の成田飛行マ







# **熾** **楽** **多** **市**

流行語

## ナンセンスCMのヒット作

「はつぱふみふみ」。パイロット万年筆のテレビCMで大橋巨泉が「みじかびの きやがりてとればすきちよびれ すきかきすらの はつぱふみふみ」と詠んだ「迷歌」が大当たり。製品の製造は間に合わず、会社の株はCM放映後三ヵ月で、六・四から一・三円にはね上がる騒ぎとなった。この「歌」自体には何の意味もないが、意味のないばかりがしさがヒットの秘密と言われている。

「アツと驚くタメゴロー」。テレビのハナ肇の口癖で、彼がテレビ番組でふっと洩らしたことから流行した。

「ジョジョ」。こつこつとか、細細と、といったことを表す若者用語。さえないことへの揶揄を含ん



TBS 提供

◀「水戸黄門」が8月4日からTBS系で放映開始。出演は東野英治郎(中央)、杉良太郎(右)、横内正(左)ら。

### ファッション

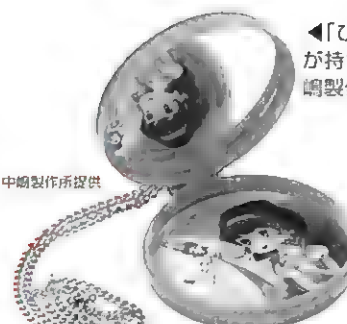
#### サン・ローランのシースルーが流行

サン・ローランが春・夏のバリエーションに、ジョーゼットやオーガンジーなど、すけて見える布地を使ったり、服の一部に穴を開けて肌が見ええるようにしたデザインを発表、これが「シースルー・ルック」と呼ばれて世界的に流行した。シースルーは布地を通して女性の体の美しさを強調しようとしたもので、日本では「スケスケ・ルック」と呼ばれたが、日本の場合、女性用だけでなく、男性用のスケスケ・ルックまで登場。男性が裸の体に極薄のワイシャツを着て肉体的美を誇示しようとするもので、一部の若者の間で結構な人気を博した。

〔昭和世相流行語辞典〕(旺文社)

三面記事

## 熟女モデルでは芸術はムリ



中略製作所提供

◀「ひみつのアッコちゃん」の主人公が持つ「魔法の鏡」のペンダントが中略製作所から発売された。価格280円。

〔京都発〕京都市立芸術大学の学生が、大学との大衆団体の席で「若くてスタイルのよいモデルを用意しろ」と要求した。大学側によると現在、モデルは九人。平均年齢が三・二歳で、内訳は一〇代一人、二〇代三人、三〇代一人、四〇代以上が四人。中には昭和二五年大学が発足した時からモデルを続けている人もおり、さらに美術専門学校時代からの経験者もある。報酬は

### 東京の夜の顔 赤坂のもうひとつの姿

東京・赤坂は粋な黒髪料亭が四軒、「ミカド」「ゴールデン赤坂」などの高級キャバレーが七軒と新旧の遊びが集り、今や銀座をしのぐ東京の夜の顔になってきつつある。

この街を別の面から見ると、裏の特徴が見えてくる。昨年の空き果の被害は、一六六件で都内で断トツだった。二位の麻布署が六〇〇件だから約二倍になる。一人当たりの被害額も都内の平均が約四万五〇〇〇円に対して、この街では八万〜十二万円。被害者の六〇割はホステスと芸者で、昨年の被害の最高は六〇〇万円の宝石だっ

新宮殿

### 男性用トイレはクスノキ 女性用はモミジの板張り

皇居新宮殿が、この四月からいよいよ利用される。新宮殿で特に心が配られているのは、外国からの賓客用のトイレである。といってもこのトイレには「ジェントルメン」と「レディス」の区別も標識もない。幅三メートルの曲がりくねった廊下を行くと、ベージュ色の布壁が板壁に変わる。その角をヒョイと曲がると、その先はすでに扉なしのおトイレという次第。ただし壁も天井も床もすべて木目



▲「週刊マ ガレット」で、この年3号から、わたなべまさこ「ガラスの城」が連載開始

あざやかな板で造られており、男性用はクスノキ、女性用はモミジが使われている。いずれも日本全国から採出した樹齢数百年の古木で、トイレの広さは一五〜四平方である。言い忘れたが標

タレント・戸田伸介 CM100年



「クリップを入れないコーヒーなんて……クリップ」(森永乳業)

### 人使いらずで六〇万 旅館のゲーム機の稼ぎ

全国のホテルや旅館には、ゲーム機を主とした娯楽室がある。箱根のある旅館では、一六台で六〇万円の利益があるという。その内訳はジュウボックス四万円×一、台、フリッパー一、台、対人ゲーム三、台、五五〇〇〇円×三、台、子ども用乗り物一、台、四台など、そのほか合わせて月の売り上げが九万五〇〇〇円。この中から維持管理費を引くと純益は五万六〇〇〇円となる。

〔レジャー産業〕(五月号)



たが、これも持ち主はホステスだった。またこの地区には約一〇〇棟のマンション、アパートがあり、中には家賃が月二五万円という豪華版もあるが、ここにもホステスたちが住んでいる。

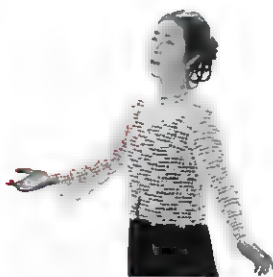
〔女性自身〕(三月二四日号)

**珍アイディア**

**秋田駅に職員用の椅子設置**

〔秋田発〕国鉄(現・JR)秋田駅の乗務員宿泊所のベッドに、自動的に職員を起こす装置が取り付けられた。その機械は「空気式安定起床装置」と言い、起床時間にセットしておくと、マットの下で

## はやり歌



▲山上路夫作詞、いずみたく作曲の「夜明けのスカット」を歌った由紀さおり。

夜明けのスカット  
ルルルルル  
ルルルルル  
ルルルルル  
ラララララ  
ラララララ  
ラララララ  
パバパバパバ  
パバパバパバ  
アアアアア  
アアアアア  
ルルルルル  
ルルルルル

愛し合う その時に  
この世は とまるの  
時のない 世界に  
二人は 行くのよ  
夜はながれず 星も消えない  
愛の唄 ひびくだけ  
愛し合う 二人の  
時計は とまるのよ  
時計は とまるのよ  
港町ブルース  
背のびして見る 海峡を  
今日も汽笛が 遠ざかる  
あなたにあげた 夜をかえして  
港 函館 通り雨  
流す涙で 割る酒は  
だました男の 味がする  
あなたの影を ひきずりながら

ピクチャーエンタテインメント提供



▲深津武志作詞、なかにし礼補作詞、猪俣公章作曲。森進一独特の節まわしてヒットした。

JASRAC(出)許諾9703920-701号

港 宮古 釜石 気仙沼  
呼んでとどかぬ 人の名を  
こぼれた酒と 指で書く  
海に涙の ああ愚痴ばかり  
港 別府 長崎 枕崎  
女心の 残り火は  
燃えて身をやく 桜島  
ここは鹿児島 旅路の果てか  
港 港町 ブルースよ



▲5月27日、東京・芝で日本初の美術オークション開催。時事通信社

### この年の初もの エロチズムの総合誌「エロチカ」創刊

●人工海水浴場 七月、伊豆・網代海岸に登場。一、七五〇〇平方メートルの海面をテトラポッドで囲んだもので、どんなに波の高い日でも安心して泳ぐことができる。

●空飛ぶ大浴場 和歌山県の有田温泉にゴンドラ式の浴場ができる。

●女性のローラーゲーム選手 佐々木陽子(一〇)がロサンゼルス・サンダーバードのプロに。



# 機動隊八五〇〇人と籠城学生六三二人の激突！ 東大・安田講堂「攻防」の二五時間

◀1月18日、機動隊に隙間なく取り囲まれた安田講堂の屋上から投石で抵抗する学生。安田講堂は、東大闘争の象徴であり、最後の砦だった。  
毎日新聞社



医学部の研修医問題に端を発した東大闘争は、やがて医学部自治会の全学スト、全共闘の結成、教室・研究室封鎖へと進み、「東大解体」の運動とエスカレートしていく。そして一月一八日、全共闘の最後の砦、安田講堂にたてこもる学生に対し、機動隊が「攻撃」を開始した。

## 九五割を記録した テレビ実況の視聴率

警視庁機動隊八五〇〇人が東京・本郷の東京大学に到着したのは、昭和四四年一月一八日、午前七時少し前だった。多重無線指揮車、放水車、トイレ車など三四六台の車両、催涙ガス銃五〇〇丁、催涙ガス弾一万発などものものしい装備があたりを威圧していた。気温はほぼ零度、機動隊の靴音が乾いて聞こえる。上空には、一〇機を超える報道陣のヘリコプターが舞い、一方で「東大闘争勝利、解放講堂死守」のアジ演説が続く。機動隊は安田講堂を孤立させるため、列品館はじめ周辺の建物の攻略を先行させた。これらの攻防で一八日の午前中は終わる。

本格的な安田攻めの開始は、この日午後一時すぎから。勢いよく放水が続く、催涙ガス弾が発射され、ヘリコプターから催涙液が激しく注がれる。これに対し、学生側もまた、火炎瓶、コンクリート片、ガソリンなどを雨あられと投げ、頑強な抵抗を試みる。機動隊は講堂内に突入することすらままならない。しかも九階建ての講堂の窓という窓にはベニヤ板が張られ、スチール製のロッカーなどが立錐の余地なく並べられていた。バリケードの排除は遅々として進まない。講堂周辺に、夕暮れが迫る。ヘリコプターのローターによって生じた乱気流で、放水が豪雨のように降りかかり、一瞬、

虹すらなかった。そして日没を迎え、初日は水入りとなる。

「勝つて闘いではなく、まる一日持ちこたえられないと思ってた。だから、我々は勝利したと宣言した」（東大全共闘行動隊長として安田講堂に籠城した今井澄氏、現・民主党参院議員）

徹夜の放水が続く、ライトアップされた講堂周辺で、機動隊員は焚き火にあたりながらごろ寝。籠城した学生は「一睡もしなかつたし、握り飯も催涙液で苦かつた」（当時、法学部五年で三階にいた松原脩雄弁護士）

両目を通じ、テレビは時々刻々ライブの映像を流し続けていた。関東地区の調

査では、各局あわせて九五割という驚異的な視聴率を記録する。

二日目の攻防は、早朝六時半から始まった。困難な作業だが、少し、また少しとバリケードがはがされていく。二時半、講堂二階が落ち、午後三時前、大講堂制圧。そして屋上に追いつめられた学生の逮捕が完了し、完全「落城」した。よぶ激闘で、全共闘学生の逮捕者は六三一人にのぼった。

「我々の闘いは決して終わったのではなく、我々に代わって闘う同志の諸君が再び解放講堂から時計台放送を行う日まで、この放送を中止します」



▲昭和43年11月の東大・駒場祭は、闘争の中での学園祭だった。ポスターには、悲壮感と遊び心が同居していた。読売新聞社



▲東大全共闘の山本義隆代表。素粒子論専攻の大学院生だった。共同通信社



# 高見山は裕次郎が好み 在日経験者の「流行歌」批評

佐伯修

この年の六月一日から、「読売新聞」に連載されたコラム「マイ・ニッポン」は、「東京」「日本人」「祭り」「米」などの各テーマに、数人ずつの、日本に住んだり、滞在した経験のある、さまざまな国の人々からのコメントを集めた好企画だった。

「流行歌」というテーマについては、リチャード・A・メリット（アメリカ、大学教授、高見山大五郎（力士）、ベーター・シュバルツ（オーストリア、チェロ奏者）ら六人が声を寄せている。

戦前、日本に留学経験があるメリットは「愛染かつら」などを「懐かしい」と歌としてあげ、日本の歌の「日本独特の味」が好きだと言う高見山は、女性では伊東ゆかり、男性では石原裕次郎を好きな歌い手としてあげている。

高見山は、流行のグループ・サウンドはあまり好きではないと言いつつ、その理由としてテンポの速いこと、ほかに、ミュージシャンたちの「力士の新弟子みたいな長髪が中途はんばな感じを与えるのが気に入ります」と述べているのがご愛敬である。



▲ハイスクール時代、「ここに幸あり」を聴く。

「ド」があると指摘する。日本民謡を研究するペイシャ・ローゼンバーク（アメリカ）は、子どもの頃、日系一世から「佐渡おけさ」のレコードを聴かされ「カッコイイ、おぼえたい」と思ったというだけあって、「民謡・流行歌、なんでも好き」で、流行歌なら、ピンキーとキラーズの「恋の季節」をはじめ、森進一、カールメン・マキ、水前寺清子など「こぶし」の利いたものがいいと言う。

だが、日本の流行歌の現状に対する彼女の批評は、次のようになかなか手厳しい。「何と言うかはうまく言えないけど、日本の流行歌には『怒っている気持ち』がないと思う。いつもさびしい一点ばかりで、メランコリーですね。そりゃ、アメリカでもサビシイ歌はありますよ。ブルースなんか。でも庶民の怒りというものが、いつもその底を流れています。なにも、プロテスト・ソングのことを言うんじゃないですね。黒人のソウル・ミュージックにみられるような『どうにでもしやがれ』という抵抗の感じ、ビターネス（苦さ）が日本の歌にはまるでありません。また昔の生活への楽しいノスタルジア（郷愁）を感じさせるような歌も少ない。とにかくワビシイですね」（「読売新聞」一〇月四日）

安田講堂の「落城」寸前、時計台放送は、こう締めくくった。  
入試中止の圧力で  
全共闘少数派に

東大闘争の発端は、昭和四三年一月二九日、インターン制度に代わる登録医師制度に反対する医学部自治会が、無期限ストに入ったことに始まる。学生らが医学部当局と団体交渉をする中で、医局長を軟禁するという偶発事件が起こり、当局が学生一七人を処分するが、この中の一人がその現場にいなかったということが判明する。

「大学当局は交渉要求を一貫して無視し、でたらめな処分すら行った。怒った学生が安田講堂を占拠（第一次安田講堂占拠）したんです」と今井氏は言う。

これに対して、大河内一男学長は四三年六月一七日、機動隊を導入する。

これをきっかけに闘争がいきまに全学化していく。六月二〇日には東大全一〇学部のうち、九学部がスト突入。七月二日、安田講堂が再封鎖され、五日には東大闘争全学共闘会議が結成された。代表は理学科大学院生の山本義隆氏（二七）。物理学者として将来はノーベル賞確実と言われていた人物である。

やがて東大闘争は、たんなる大学改革のレベルにとどまらず、東大という存在そのものを根本的に否定する方向に突き進んでいく。つまり、人々の上に君臨する特権集団を作り出すシステムである東大に在学することを拒否しようと言うのだ。「自己否定」や「帝国主義大学解体」というスローガンがその象徴だった。だ



▲一九六八年五月四日、機動隊はついに突破口を開き、安田講堂内に入った。（毎日新聞）

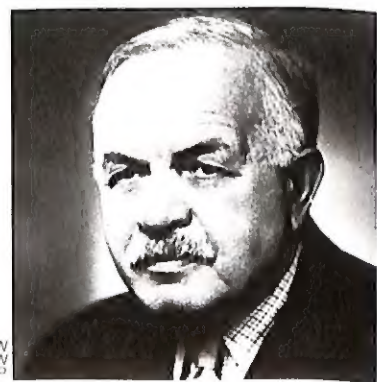
## 往きて 還らぬ



▲2月12日 福沢幸雄(25)  
カーレーサー。福沢諭吉のひ孫。テレビCMにも出演して人気があったが、レーシングカーのテスト運転中に事故死。



▲2月21日 原阿佐緒(80)  
歌人。大正から昭和の初めにかけて活躍、歌集に「涙痕」など。大正2年、物理学者との恋愛問題で話題に。



▲3月14日 ベン・シャーン(70)  
アメリカの画家。社会的事件を情景として表現した。1960年来日、「第五福竜丸」事件に関する連作も制作した。



▲6月22日 ジュディ・ガーランド(47)  
アメリカのミュージカルの人気スター。1939年「オズの魔法使」でアカデミー特別賞受賞。ライザ・ミネリは娘。



▲3月28日 D・アイゼンハワー(78)  
アメリカの政治家。第二次大戦中は連合軍総司令官として活躍。一九五三年大統領に就任、朝鮮戦争を終結させた。



▲9月9日 安藤鶴夫(60)  
「都新聞」などの芸能記者として活躍。昭和39年「春談本牧亭」で直木賞受賞。落語、歌舞伎、文楽などの評論多数。

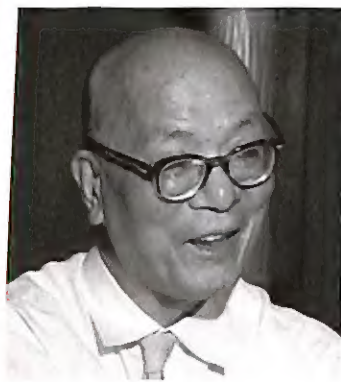


▲7月22日 成瀬巳喜男(69)  
映画監督。昭和五年、監督としてデビュー。女の生きる哀しさを描き続けた。代表作に「めし」「浮雲」など。

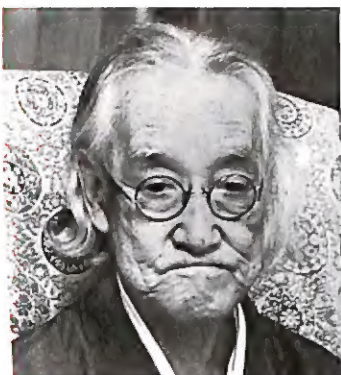


▲9月22日 長谷川かな女(81)  
女流俳人の草分けで、昭和5年句誌「水明」創刊。随筆でも知られた。41年紫綬褒章受賞。句集「龍胆」「雨月」など。

▼7月17日 市川崑(37)  
歌舞伎俳優から映画界入りし、時代劇の人気スターとして活躍した。当たり役の「眠狂四郎」ほか、158本に出演。



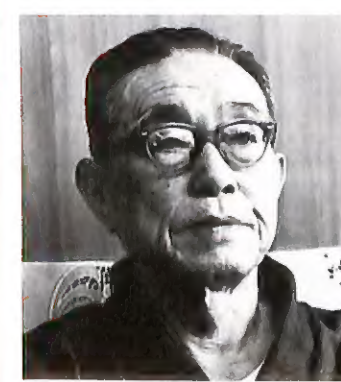
▲10月9日 正力松太郎(84)  
警視庁から読売新聞社長に。昭和9年に大日本東京野球倶楽部（現・読売巨人軍）戦後は日本テレビ放送網を創設。



▲11月11日 長谷川如是(93)  
ジャーナリスト。明治、大正、昭和を通して新聞、雑誌で活躍。昭和7年刊行の「日本ファシズム批判」は発禁に。



▲11月15日 伊藤整(64)  
小説家。新心理主義文学の第一人者。昭和25年には「チャタレイ夫人の恋人」翻訳が狼狽として起訴された。



▲12月13日 獅子文六(76)  
小説家。ユーモア文学と家庭小説で知られる。昭和44年文化勲章受賞。代表作に「自由学校」「てんやわんや」など。





# 週刊 日録20世紀

第19号 6月17日(火)発売 定価560円  
毎週火曜日発売 講談社 本体533円

## 1941 [昭和16年]



●特集  
「米英軍と戦況状態にあり」二月八日、日本軍真珠湾を奇襲し、二〇世紀最大の国際的パイロ「フランク事件」の深い闇に劇七まり半事件、女優「李香蘭」の秘蔵のドイッ重三〇〇万がソ連攻撃、ヒトラー、バルバロッサ作戦「発令」ニース・ファイル

●人物クロニクル  
高村光太郎、習志子「ベストセラー」に決定的瞬間

●美の出会い  
カラフルな挿絵の国定教科書が登場

●女たちの肖像  
高橋秀子、女優に脱皮

●勝者・敗者  
ヒストン・リンク、橋の伝説に「KO勝ち」証言・あの日の日

中野重治、黒田二郎、20世紀博物館：世



日録20世紀専用バンダー  
高級感あふれる特製バンダーを用意しました。「日録20世紀」全100巻を10冊ずつ年代順に「バンダー」にまとめてお送りします。10年ごとに分類するためのシールも添付。取りはしは簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永く保存してお楽しみください。バンダーは1部1300円(税別)。全国の書店でお求めください。

最後の「生活」のつらさ  
「日録20世紀」は、お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円(税別)です。直接弊社にご注文の場合は、冊数に関係なく、送料200円のご負担となります。なお、代金と送料は先にお送りください。申込先 講談社読者サービス係 電話03-5395-3676



### 既刊好評発売中

1959 日録20世紀  
創刊号(2月18日号)1959(昭和34年)

1964 日録20世紀  
第2号(2月25日号)1964(昭和39年)

1965 日録20世紀  
第3号(3月4日号)1965(昭和40年)

1970 日録20世紀  
第4号(3月11日号)1970(昭和45年)

1963 日録20世紀  
第5号(3月18日号)1963(昭和38年)

1958 日録20世紀  
第6号(3月25日号)1958(昭和33年)

1972 日録20世紀  
第7号(4月1日号)1972(昭和47年)

1980 日録20世紀  
第8号(4月8日号)1980(昭和55年)

1976 日録20世紀  
第9号(4月15日号)1976(昭和51年)

1989 日録20世紀  
第10号(4月22日号)1989(平成元年)

1960 日録20世紀  
第11号(4月29日号)1960(昭和35年)

1961 日録20世紀  
第12号(5月6日号)1961(昭和36年)

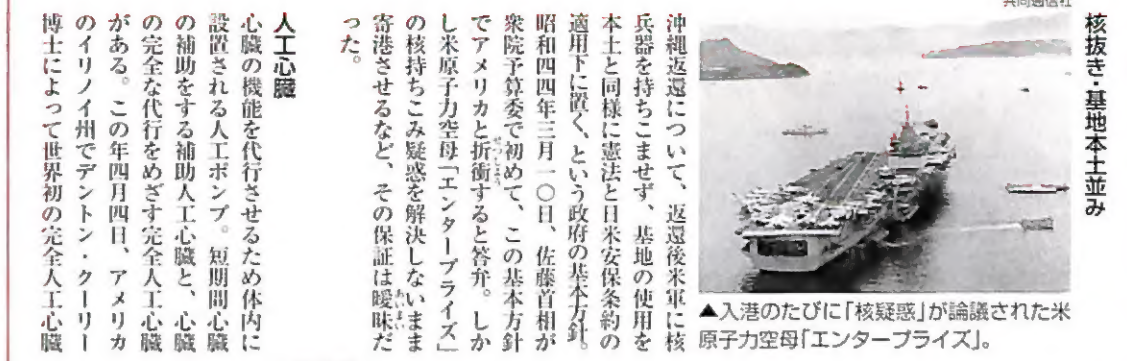
1962 日録20世紀  
第13号(5月13・20日号)1962(昭和37年)

1965 日録20世紀  
第14号(5月27日号)1965(昭和40年)

1966 日録20世紀  
第15号(6月3日号)1966(昭和41年)

1967 日録20世紀  
第16号(6月10日号)1967(昭和42年)

1968 日録20世紀  
第17号(6月17日号)1968(昭和43年)



核抜き・基地本土並み  
入港のたびに「核疑惑」が論議された米原子力空母「エンタープライズ」。

沖縄返還について、返還後米軍に核兵器を持ちこませず、基地の使用を本土と同様に憲法と日米安保条約の適用下に置く、という政府の基本方針。昭和四十四年三月一日、佐藤首相が衆院予算委で初めて、この基本方針でアメリカと折衝すると答弁。しかし米原子力空母「エンタープライズ」の核持ちこみ疑惑を解決しないまま寄港させるなど、その保証は曖昧だった。

▲6月8日、伊東市で反日共系学生らがASPAC反対運動を展開。

ASPAC  
日本・韓国・南ベトナムなど二〇カ国がアジア太平洋諸国の連帯強化をめざして結成した組織。昭和四十四年発足。アジア・太平洋協議会、通称アスパック。この年六月九日、伊東市で第四回閣僚会議が開かれたが、反共同盟の色彩が強かったため、その前日と当日、反日共系学生らが開

テレビ「コント55号」裏番組を「飛ばせ」で「コント55号」女性ゲストが野球拳を、負けた方が脱いだ衣装をその場で脱いだ場面が超人気の番組だったが、日本視聴者会議に低俗番組第一位にあげられるなど批判が強かった。このほか「8時だヨ!全員集合」「どっきりカメラ」など、この年「低俗」と指摘された番組が花盛りだった。

反戦自衛衛官  
「アンチ安保」「治安行動訓練を拒否せよ」などのビラを配布し、一月一日に自衛隊法違反で逮捕された航空自衛隊佐分屯基地配属の二等空曹・小西誠は、「デモ隊は敵でない」と訴え、九月には市ヶ谷駐屯地内市ヶ谷会館で僚友反戦結成大会も開いていた。昭和五〇年、新潟地裁が無罪判決、検察側は控訴したが、五六年の差し戻し審で無罪が確定した。

▲SALT1で握手するソ連・セミョーフ(左)と米・スミス両首席代表。

米ソの第一次戦略兵器制限交渉。戦略兵器とはICBM(大陸間弾道ミサイル)など相手の本土を直接攻撃することが出来る核兵器のこと。十一月七日からヘルシンキで予備交渉が行われ、翌一九七〇年四月、ウイーンで本交渉が始まった。一九七二年、ABM(弾道弾迎撃ミサイル)を双方とも二カ所ずつに制限すること、ICBM発射台を規定の数に制限することが決まり、核軍備拡張競争にブレーキがかかった。

# 三二事典

## 1969年のキーワード

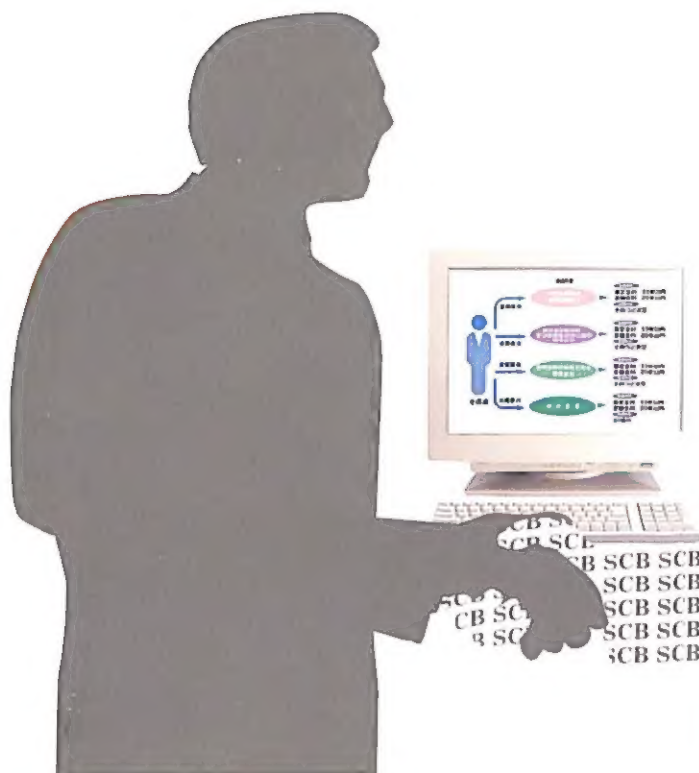
●「私生まれも育ちも高橋秀子です」  
国民的アイドル「真さん」スタート!  
GNP五〇兆円の大台突破!  
日本、世界第二位に躍進  
機動隊八五〇〇人と龍城学生との衝突  
東大・安田講堂、攻防の三時間

●「ユース・ファイル」  
フォト・日録で再現する365日  
女たちの肖像  
オノ・ヨーコ、ジョン・レノンと結婚 稲葉真子  
勝者敗者  
中子園のアイドル太田幸司、阿部珠樹  
証言・あの日の日 坪内祐三  
20世紀博物館  
竹中大工道具館(兵庫) 桑原茂夫  
現場を歩く  
新宿・西口の反戦フォーク 山本徹美  
外から見たNIIPPON  
高見山の「流行歌」批評 佐伯修

●「モノ語り」  
「ハントリーストッキング」フッシュホン  
人物クロニクル  
高倉健、唐獅子牡丹の旋風  
決定瞬間  
号泣するベトナム女性の悲劇  
箱根彫刻の森美術館オープン  
ベストセラー  
はやり歌  
往きて還らぬ  
41 37 18 24 22 20 19 40 26 17 15 31 9 9 10 30 38 27 6 2



全信連は  
豊富な資金を持つ「金融機関」として、  
多様なニーズにお応えします。



**資金量15兆円。信用金庫のセントラルバンク全信連(SCB)。**  
全信連は、15兆円の資金を有する金融機関です。全国の信用金庫から預け入れられた資金と、全信連が金融債を発行して調達した資金をもって、地方公共団体や地元企業、信用金庫取引先である中小企業や地域住民のみなさま方の多様な資金ニーズにお応えし、信用金庫とともに地域経済社会の繁栄に貢献しています。

本店 〒104東京都中央区京橋3-8-1

\*資金量は平成8年12月末現在\*資料のご請求は広報室まで